HW-01F

ISSUE DATE: '14.2

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

はじめに

「HW-01F」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書の見かた

本書では、本端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは、異なる場合があります。
- 本書では、「HW-01F」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

■「かんたんセットアップマニュアル」(本体付属品)
基本編、ゲーム編/ポータブルデバイス編にわかれており、本端末とパソコン、ゲーム機やiPhoneなどの接続方法について説明しています。

■「ご利用にあたっての注意事項」(本体付属品)
本端末をご利用の際に、ご注意いただきたい事項などを説明しています。ご利用の前に必ずお読みください。

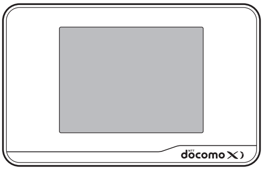
■「取扱説明書」(PDFファイル)
本端末とパソコンの接続方法、各種機能の設定、操作方法について詳しく説明しています。

- 本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
  - 「取扱説明書(PDFファイル)」ダウンロード
    http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

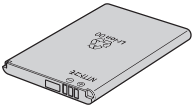
  ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

HW-01F（保証書付き）

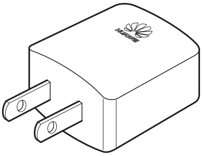


電池パック HW04

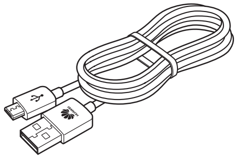


リアカバー HW07

ACアダプタ HW03（保証書付き）



USB接続ケーブル HW02



- **かんたんセットアップマニュアル**
  （基本編、ゲーム編／ポータブルデバイス編 各1部）
- **ご利用にあたっての注意事項**
- **無線LAN 初期設定シール**

目次

本体付属品 1
本端末のご利用について 3
HW-01Fの主な機能 5
安全上のご注意（必ずお守りください） 7
取り扱い上のご注意 12
防塵性能 15

ご使用前の確認 **P.17**	・各部の名称と機能 ・ドコモminiUIMカードを使う ・電池パックの取り付けかた／取り外しかた ・充電する ・電源を入れる／切る ・画面の見かた ・タッチパネルの使いかた ・英数字と記号の入力
セットアップ **P.33**	・セットアップについて ・USB接続ケーブルで接続／通信する
各種設定（Webブラウザ） **P.69**	・HW-01F設定ツールについて ・HW-01Fの状態を確認する ・各種機能の詳細設定をする ・データ通信量を確認する ・ソフトウェアの更新をする
各種設定（本体メニュー） **P.111**	・本端末の本体メニューについて ・各種機能の詳細設定をする
海外利用 **P.125**	・国際ローミング（WORLD WING）の概要 ・海外で利用できるサービス ・ご利用時の確認 ・海外で利用するための設定
付録／索引 **P.131**	・メニュー一覧 ・オプション・関連機器のご紹介 ・故障かな？と思ったら ・保証とアフターサービス ・ソフトウェア更新 ・主な仕様 ・Operating Environment ・Certification Information (SAR) ・FCC Statement ・Disposal and Recycling Information ・Reduction of Hazardous Substances ・EU Regulatory Conformance ・輸出管理規制 ・知的財産権 ・GPL書面によるオファーについて ・SIMロック解除 ・索引

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 本端末はXiデータ通信／FOMAデータ通信に対応しています。送受信したデータ量に応じて課金される通信方式です。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、Xiデータ通信（LTE）またはFOMAデータ通信（3G）に対応した接続先を利用して、受信時最大150Mbps※、送信時最大50Mbps※の速度でデータ通信を行うことができます。
  ※：Xiエリアの一部に限ります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額の通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客様（当日を含む直近3日間のデータ通信量が約1GB以上）は、それ以外のお客様と比べて通信が遅くなることがあります。
- 本端末は、お買い上げ時の設定では、電源を入れると自動的にネットワークに接続されます。海外では、ご使用にならないときは電源を切っておくことをおすすめします。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応しておりません。
- インターネットサービスプロバイダのご利用料金について
  パソコンなどでインターネットを利用する場合は、ドコモのXi／FOMAサービス契約回線のご利用料金と、別途ドコモの対応プロバイダ「mopera U」などのインターネットサービスプロバイダのご利用料金が必要となります。「mopera U」のお申込み方法、サービスの内容、設定方法については、「mopera U」のホームページ（http://www.mopera.net）をご確認ください。
  なお、他社インターネットサービスプロバイダでもご利用いただけます。その場合、ご利用料金は他社プロバイダへ直接お支払いいただきます。他社プロバイダをご利用の場合、詳しくは各プロバイダにご確認ください。
- ネットワークアクセス時のユーザー認証について
  接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合はIDとパスワードを入力して接続してください。
  IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 紛失に備え、パスコードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.118

HW-01Fの主な機能

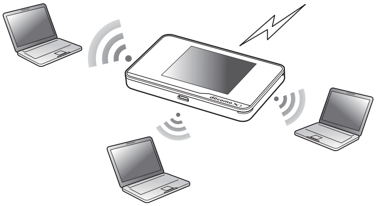
本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と接続できるほか、USB接続ケーブルでパソコンと接続して、データの送受信ができます。

- 本端末はIEEE802.11a/n（5GHz帯）、b/g/n（2.4GHz帯）の無線LAN規格に対応しており、最大300Mbps（IEEE802.11n接続時）／最大54Mbps（IEEE802.11a/g接続時）／最大11Mbps（IEEE802.11b接続時）のデータ通信ができます。
- インターネット接続では、受信時最大150Mbps※／送信時最大50Mbps※になります。

※ Xiエリアの一部に限ります。

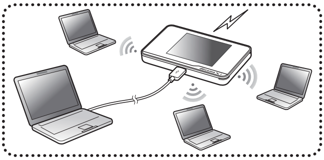
Wi-Fiで接続する

本端末とパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器を接続し、データの送受信を行います。
本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで、マルチSSID利用時はSSID 1に5台、SSID 2に4台の合計9台まで）接続できます。



USB接続ケーブルで接続する

本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、データの送受信を行います。
Wi-Fi接続とUSBテザリングを同時に利用することもできます。
USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで、マルチSSID利用時はSSID 1に5台、SSID 2に4台の合計9台まで）接続できます。



■ 接続先の初期設定

本端末の接続先の初期設定は、「mopera U」になっております。mopera U以外のプロバイダをご利用になる場合は、通信を行う前に設定を変更していただく必要がございますのでご注意ください。
設定方法につきましては、「プロバイダ設定」（→P.81）をご覧ください。

■ DFS機能

本端末はWi-Fi 5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令（電波法）により、DFS機能を搭載しています。本端末が利用するWi-Fi 5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本端末を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本端末がWi-Fi 5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさないWi-Fi 5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

周囲に同じWi-Fi 5GHz帯を使っている無線LAN装置などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなることがあります。

■ Wi-Fi 5GHz帯への切り替えについて

本端末をWi-Fi 2.4GHz帯からWi-Fi 5GHz帯に切り替えると、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも60秒間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書ではDFSチェックと呼びます。

Wi-Fi 5GHz帯の設定で本端末の電源を入れたときや、Wi-Fi自動オフ機能などでWi-Fi接続が切断された状態から復帰するときなども、DFSチェックが作動します。DFSチェック中は、Wi-Fi接続が一時的に切断され、Wi-Fi接続が確立するまでに1分間※程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。

本端末に接続しているWi-Fi対応機器との接続も切断されますので、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作を行ってください。

5GHzから2.4GHzに切り替えるときは、DFSチェックは作動せず、ネットワーク接続は切断されません。

※ DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

国際ローミングに対応しています。
海外でも3G／GSM／GPRSネットワークを利用して、データの送受信ができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）........8
2.本端末の取り扱いについて........8
3.電池パックの取り扱いについて........9
4.アダプタ、USB接続ケーブルの取り扱いについて........10
5.ドコモminiUIMカードの取り扱いについて........11
6.医用電気機器近くでの取り扱いについて........11
7.材質一覧........11

1.本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタやUSB接続ケーブルでパソコンなどに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら長時間連続で使用すると、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、タッチパネル部を破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

タッチパネル部は、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってタッチパネルを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.11「7.材質一覧」

指示

タッチパネルを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示
ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止
一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止
濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ、USB接続ケーブルの取り扱いについて

⚠警告

禁止
アダプタのコードやUSB接続ケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
ACアダプタやUSB接続ケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
アダプタのコードやUSB接続ケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
本端末にアダプタやUSB接続ケーブルを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でアダプタやUSB接続ケーブル、充電端子、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示
DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示
電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
本端末にアダプタやUSB接続ケーブルを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5.ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

7.材質一覧

使用箇所		使用材料・表面処理
本体	フロントパネル	ガラス・フィルム
	外装ケース（パネル面）	PC＋10%GF・塗装
	装飾フレーム（パネル面）	PC・塗装
	電源キー	PC＋10%GF+TPU・塗装
	RESETボタン	PC
	外装ケース（電池面）	PC＋10%GF
	リアカバー	PC＋10%GF・塗装
	アンテナカバー	PET
	ネジ	カーボンスチール・黒亜鉛メッキ
	IMEIプレート（電池スロット底面）	ポリエステル
	SIMカードスロット（端子部）	LCP、リン酸銅・金メッキ＋ニッケルメッキ、スズメッキ＋ニッケルメッキ
	SIMカードスロット（スロットカバー）	ステンレススチール
	電池パック接続端子	ベリリウム銅・ニッケル＋金メッキ
	外部接続端子	ステンレススチール、LCP、銅･パラジウム＋ニッケル＋金メッキ
ACアダプタ	外装ケース	PC+ABS
	ACプラグ	黄銅・電解銅＋ニッケルメッキ
	USB端子	黄銅・ニッケルメッキ
	ラベル	PET・塗装
USB接続ケーブル	外装ケース	PC+ABS
	ケーブル部	PVC
	microUSB端子	PBT+30%GF、LCP+30%GF、ステンレススチール、銅合金・ニッケルメッキ
	USB端子	PBT+30%GF、SPCC、銅合金・銅メッキ＋ニッケルメッキ
電池パック	本体	PC+ABS
	ラベル	PET・塗装
	端子	銅・ニッケルメッキ＋金メッキ
	水濡れシール	水溶紙、塗装・OPPフィルム

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、タッチパネルに傷がつく場合があります。
  - タッチパネルに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとタッチパネル、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **タッチパネルは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は0℃～35℃、湿度は5%～95%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（0℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が半分の状態をお勧めします。

アダプタ、USB接続ケーブルについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（0℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

  2.4DS4/OF4
  ▬ ▬ ▬

  2.4：　2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  DS4/OF4：変調方式がDS-SS、OFDMであること、および想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ▬▬▬：　2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- **2.4GHz機器使用上の注意事項**
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **5GHz機器使用上の注意事項**
  - ・ご利用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。本端末では、Wi-Fi 5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。
  - ・Wi-Fi 5GHz帯は電波法により、W56のチャンネルは屋外でご利用になれますが、W52/W53のチャンネルは屋外での使用が禁止されています。画面に が表示されている際には屋内でご使用ください。
  - ・Wi-Fi 5GHz帯のW53/W56使用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます。(DFS機能)

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

防塵性能

本端末は、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIP5X※の防塵性能を有しています。

※：IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に本端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに本端末の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

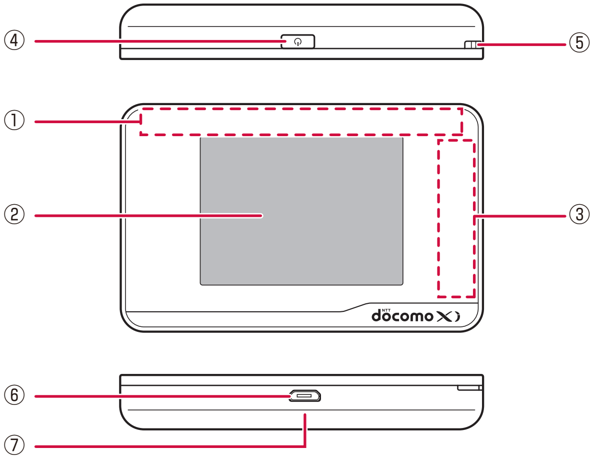
ご利用にあたって

- ご使用前にリアカバーをしっかりと取り付け、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると、粉塵の侵入の原因となります。
- microUSBコネクタ（外部接続端子）に埃が入った場合は、取り除いてご使用ください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能. 18
ドコモminiUIMカードを使う 19
電池パックの取り付けかた／取り外しかた 22
充電する 24
電源を入れる／切る 27
画面の見かた 28
タッチパネルの使いかた. 30
英数字と記号の入力 31

各部の名称と機能



① Wi-Fiアンテナ
- アンテナは本体に内蔵されています。

② タッチパネル（ディスプレイ）
- 本端末の状態を表示したり、各種操作を行います。→P.28

③ FOMA／Xiアンテナ
- アンテナは本体に内蔵されています。

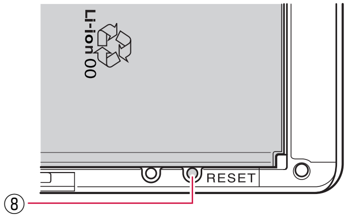
④ [⏻]電源キー
- 電源を入れたり切ったりします。→P.27
- 電源を入れると、Wi-Fi機能がオンになります。

⑤ ストラップ取り付け穴
- ストラップなどを取り付けます。
  リアカバーを取り外して作業すると、ストラップが取り付けやすくなります。

⑥ microUSBコネクタ（外部接続端子）
- 充電時やパソコンとの接続時にUSB接続ケーブルを接続します。→P.25、P.26

⑦ リアカバー

⑧ RESETボタン
- リアカバーを取り外すと、本端末の下部にあります。



本端末の電源がONの状態で、5秒以上押し続けると、本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
- HW-01F設定ツールからもリセットできます。詳しくは「リセット」（→P.107）をご覧ください。

ドコモminiUIMカードを使う

ドコモminiUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信を利用できません。ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

取り付けかた／取り外しかた

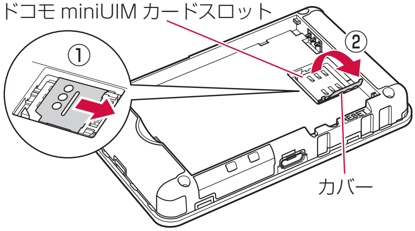
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り（→P.27）、リアカバーと電池パックを取り外してから行います（→P.23）。

- ACアダプタやUSB接続ケーブルが接続されているときは、先に取り外してください。

取り付けかた

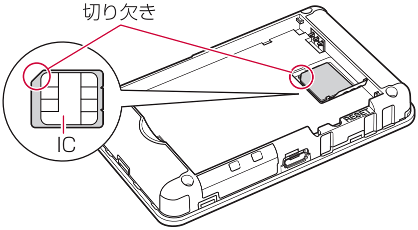
1 ドコモminiUIMカードスロットのカバーを①の方向にカチッと音がするまで動かしてロックを解除し、②の方向に持ち上げる

- カバーを動かしたり、持ち上げる際に、指先を傷つけないようにご注意ください。

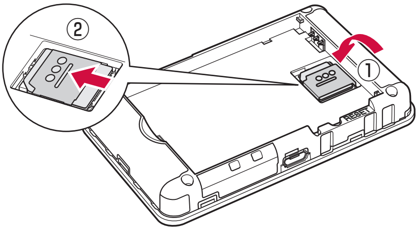


2 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、ドコモminiUIMカードスロットに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられているかご確認ください。

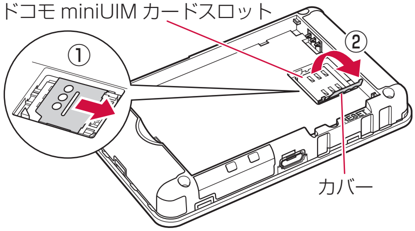


3 カバーを①の方向に倒し、②の方向にカチッと音がするまで動かしてロックする



■ 取り外しかた

1 ドコモminiUIMカードスロットのカバーを①の方向にカチッと音がするまで動かしてロックを解除し、②の方向に持ち上げる



2 ドコモminiUIMカードを取り外す

お知らせ

- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないよう、ご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、ドコモminiUIMカードが破損する場合があります。

暗証番号

ドコモminiUIMカードにはPIN1コードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（→P.86）。PIN1コードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する４～８桁の暗証番号（コード）です。

- PIN1コードの入力を３回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。
- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPIN1コードをご利用ください。

■ PIN1コードに関するご注意

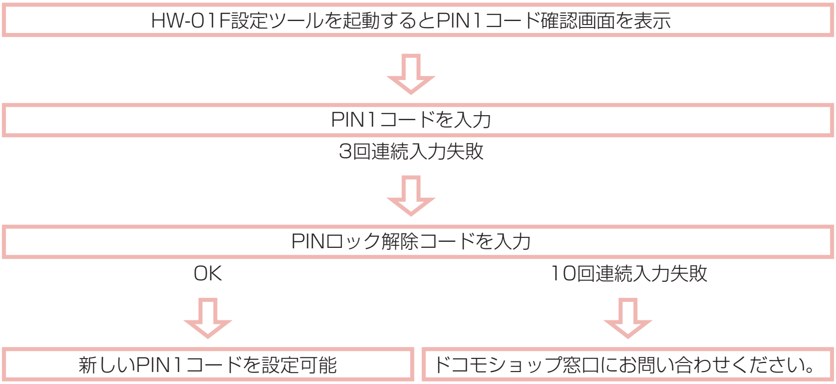
お客様ご自身で番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。

- 設定するPIN1コードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPIN1コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PIN1コードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PIN1コードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PIN1コードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。



電池パックの取り付けかた／取り外しかた

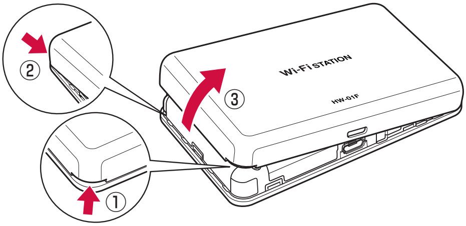
電池パックとリアカバーの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行います（→ P.27）。また、リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のタッチパネルなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。

- 本端末専用の電池パック HW04を使用してください。
- ACアダプタやUSB接続ケーブルが接続されているときは、先に取り外してください。
- バッテリーを取り外す際は、事前に電源をオフにしてください。故障の原因となります。

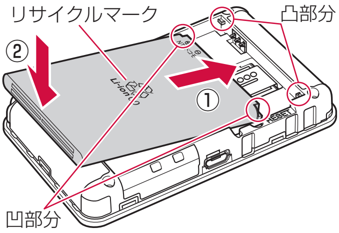
取り付けかた

1 リアカバーの凹部分に指先をかけて開き（①）、反対側のツメを外し（②）、③の方向に取り外す

- 指先を傷つけないようにご注意ください。

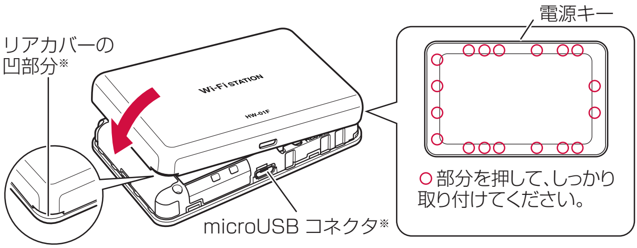


2 電池パックのリサイクルマークが印刷されている面を上にして、本端末の凸部分と電池パックの凹部分を合わせ、①の方向へ押し付けながら、②の方向へ押し込んで取り付ける



3 リアカバーの凹部分の向きを確認して本端末のミゾとリアカバーのツメを合わせるように装着し、ツメの部分をしっかりと押して取り付ける

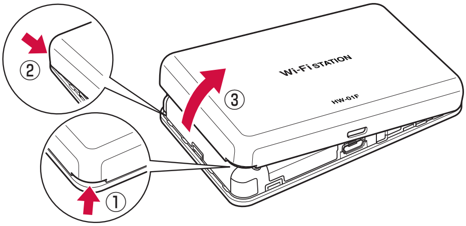
- 本端末とリアカバーの間にすきまがないことを確認してください。



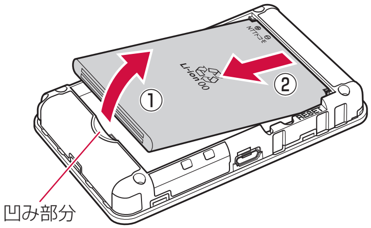
※microUSBコネクタとリアカバーの凹部分の位置を確認し、本端末とリアカバーを正しい向きで取り付けているかを確認してください。

取り外しかた

1 リアカバーの凹部分に指先をかけて開き（①）、反対側のツメを外し（②）、③の方向に取り外す
- 指先を傷つけないようにご注意ください。



2 本端末の凹みの部分を利用して電池パックを①の方向へ持ち上げて、②の方向へ取り外す



充電する

本端末専用の電池パック HW04を使用してください。
お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。はじめてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

充電について

- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。
- 電池パック単体では充電できません。必ず本端末に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 必ずACアダプタを使用するか、USB接続ケーブルでパソコンに接続して充電してください。
- 使用していない状態でも電池パックは放電します。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用してください。

電池パックの充電時間／使用時間の目安

- 充電完了までの時間は、周囲の温度や電池パックの使用期間などによって異なります。
- 連続待受時間、連続通信時間は、使用環境や電波状況などにより変動します。

充電時間	連続待受時間	連続通信時間
電源オフ時：約158分（ACアダプタ HW03）／ 約300分（USB接続ケーブル HW02）	約380時間（LTE） 約420時間（3G） 約400時間（GSM）	約7時間（LTE） 約6時間（3G） 約5時間（GSM）

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックの利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても利用可能時間が短い場合は、指定の新しい電池パックに交換してください。

Li-ion00

ACアダプタ、DCアダプタについて

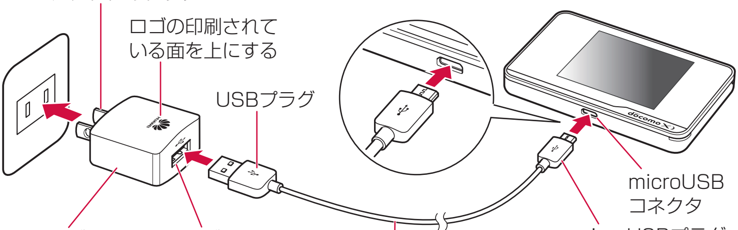
- 詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 03/04、FOMA ACアダプタ 02、ACアダプタ HW01/02/03はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は、行わないでください。

電池残量の確認のしかた

- 電池パックの電池残量は、タッチパネル上部の電池残量表示で確認できます（→P.29）。

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタ HW03と、USB接続ケーブル HW02を使って充電します。



1 本端末のmicroUSBコネクタに、USB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして水平に差し込む

2 USB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタのUSBコネクタにUSBマークを上にして水平に差し込む

3 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

4 充電が完了したら、ACアダプタのプラグをコンセントから抜く

5 USB接続ケーブルを本端末とACアダプタから水平に抜く

パソコンに接続して充電する

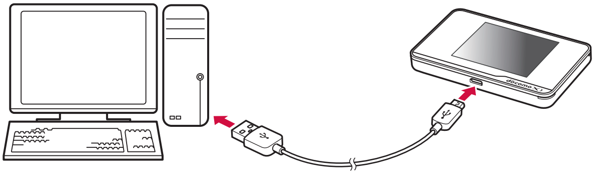
付属のUSB接続ケーブル HW02を使ってパソコンと接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- 初めてパソコンに接続したときは、デバイスドライバのインストーラーが自動的に起動します。デバイスドライバをインストールしなくても充電は可能です。→P.56、P.65
- 本端末の初期設定では、USBテザリングが有効になっているため、パソコンに接続すると自動的にインターネットに接続されます。パケット通信（課金対象）が発生しますのでご注意ください。

1 本端末のmicroUSBコネクタにUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして水平に差し込む

2 USB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBポートに接続する

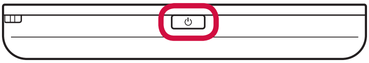
- USBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる



Wi-Fi機能が自動的にオンになります。

- 電源をオンにした直後はロック画面が表示されます。
- タッチパネルで本端末を操作するときは、ロック画面をフリックすることでホーム画面が表示されます。
- パスコードを設定しているときは、ロック画面に続き、パスコード入力画面が表示されますので、パスコードを入力してください。

お知らせ

- ドコモminiUIMカードにPIN1コード認証が有効に設定されている場合には、本端末の電源を入れたときPIN1コードの入力が必要になります。
- 電源を入れた後、本端末を約15秒操作しないと、タッチパネルの表示が消えます。⏻ を押すと、タッチパネルを表示します。
- すでに接続の設定をしたあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます。

電源を切る

1 ⏻ を約2秒間押し続ける

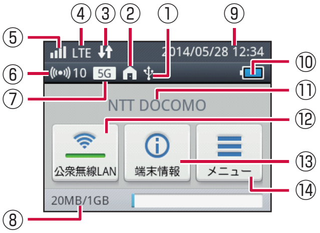
2「電源を切る」をタップ

- 「再起動」をタップすると、本端末を再起動できます。

お知らせ

- 本端末の電源を切ると、Wi-Fi対応機器との接続が自動的に切れます。

画面の見かた



① USB接続中表示
パソコンとUSB接続ケーブルで接続中に表示されます。

② 屋内利用アイコン
Wi-Fi 5GHz帯で接続中に表示されることがあります。
このアイコンが点灯しているときは、屋内でご利用ください。
- 点灯：Wi-Fi 5GHzのW52またはW53チャンネルで接続中
- 消灯：Wi-Fi 5GHzのW56チャンネルまたはWi-Fi 2.4GHzで接続中

DFSチェック中は「DFS」表示が点滅します。

③ インターネット接続表示
- ：インターネット接続中（上りのみ通信中）
- ：インターネット接続中（下りのみ通信中）
- ：インターネット接続中（上り・下りとも通信中）
- ：インターネット接続中で通信が行われていない場合

④ 接続中のネットワークの種類
接続中のネットワークの種類（「LTE」／「3G」／「GSM」／公衆無線LAN）が表示されます。
※ 3G／GSMでローミング中の場合は、のように受信レベル表示の左上に「R」が表示されます。
公衆無線LANに接続中は以下のアイコンが表示されます。
- ：公衆無線LANに接続中
- ⇔：受信レベル「強」⇔「弱」

⑤ 受信レベル表示
- ⇔：受信レベル「強」⇔「弱」
- 圏外：圏外

⑥ Wi-Fi機能オン表示／接続台数表示
- ：Wi-Fi機能がオンになっているときに表示されます。
  右側の数字は、本端末に接続中のWi-Fi対応機器の台数です。

⑦ 周波数帯表示
使用している周波数帯を表示します。
- 「2.4G」：Wi-Fi 2.4GHz帯を使用中
- 「5G」：Wi-Fi 5GHz帯を使用中

⑧ データ通信量／最大データ通信量表示
使用したデータ通信量と、最大データ通信量が表示されます。→P.87、122

⑨ 日付・時刻表示
日付と時刻が表示されます。

⑩ 電池残量表示

- ⇔：電池残量「多い」⇔「少ない」
- ：電池残量がほとんど残っていません。直ちに充電してください。
- ⇒⇒⇒⇒：充電中

⑪ 接続中のネットワーク名表示

接続中のネットワーク名が表示されます。

⑫ 公衆無線LANのオン／オフ

タップすると公衆無線LANをオン（カラー表示）／オフ（グレー表示）することができます。

⑬ 端末情報

タップすると本端末の情報を確認することができます。
メニューから項目を変更することもできます。→P.117

⑭ メニュー

タップすると本端末の各種設定を変更することができます。→P.111

お知らせ

- 本端末を約30秒操作しないと、タッチパネルの表示が消え、本端末がスリープ状態になります。再度タッチパネルを点灯させるには、を押してください。
  スリープまでの時間は、設定によって変更できます。→P.117

タッチパネルの使いかた

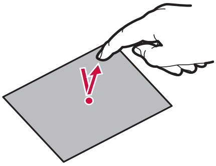
本端末は指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネルをご利用になる前に

本端末は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

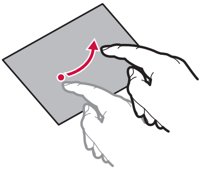
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

■タップ



項目やアイコンに軽く触れて指を離します。

■フリック

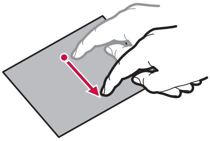


タッチパネルを指ですばやくはらうように操作します。

■スライド（スワイプ）

タッチパネルに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ドラッグ



アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

英数字と記号の入力

■ 英数記号キーボード

① 入力欄です。カーソルの位置に文字が入力されます。カーソルはタップまたはドラッグして移動することができます。パスワードなどの場合は、入力した文字が「*」や「・」で表示されることがあります。
② カーソルの左側にある文字を削除します。
③ 文字を入力するキーボードです。左右にドラッグすると表示されていない文字を表示することができます。
④ スペース（空白）を入力します。
⑤ 入力する文字種を切り替えます。
- 123 ：数字入力
- a/A ：英字入力（タップするたびに大文字／小文字が切り替わります）
- #/@ ：記号入力

■ 数字キーボード

① 入力欄です。タップした文字が左から順番に、またはカーソル位置に入力されます。パスワードなどの場合は、入力した文字が「*」や「・」で表示されることがあります。
② 右側の文字から順番に、またはカーソルの左側にある文字を削除します。
③ 文字を入力するキーボードです。

セットアップ

セットアップについて 34
USB接続ケーブルで接続／通信する 55

セットアップについて

本端末と通信を行う機器との接続は、Wi-Fi機能を使う方法と、USB接続ケーブルを使う方法があります。接続方法ごとの説明をご覧いただき、セットアップを進めてください。
いったん設定したあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます。

■ Wi-Fi接続でデータの送受信を行う場合

本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで、マルチSSID利用時はSSID 1に5台、SSID 2に4台の合計9台まで）接続できます。→P.35
ネットワークやセキュリティの設定などを変更する場合は、通信ソフト（ドライバ）をインストールして、HW-01F設定ツールをご使用ください。→P.56、P.65

■ USB接続ケーブルで接続してデータの送受信を行う場合

パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。この場合、本端末をパソコンに認識させるため、通信設定ソフト（ドライバ）のインストールが必要です。
→P.56、P.65
USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで、マルチSSID利用時はSSID 1に5台、SSID 2に4台の合計9台まで）接続できます。

セットアップの流れ

Wi-Fiで接続
・一般的なWi-Fi対応機器を接続する
・Windowsパソコンを接続する
・Macを接続する

USB接続ケーブルで接続
・Windowsパソコンを接続する
・Macを接続する

⇩

通信設定ソフト（ドライバ）のインストール

⇩

HW-01F設定ツールを使って設定
・mopera Uに接続してお使いになる場合は、この設定は不要です。

セットアップに必要な情報について

本端末にWi-Fi対応機器を接続する際、以下の情報が必要になります。付属の無線LAN 初期設定シールと、銘板シールに、本端末の初期設定値が記載されておりますので、必要に応じてご確認ください。また、本端末のタッチパネルに情報を表示することもできます。→P.123

- SSID
  ネットワーク上での本端末の名前です。SSID1と、SSID2があります。本端末のタッチパネルには「名前」と表示されます。
  SSID1：HW01F-XXXXXX（MACアドレス下6桁）
  SSID2：HW01FM-XXXXXX（MACアドレス下6桁）
- セキュリティキー
  本端末に接続するためのパスワードです。
  - WPA KEY：本端末の認証方式が「WPA-PSK」「WPA2-PSK」「WPA/WPA2-PSK」のとき使用します。本端末のタッチパネルには「パスワード」と表示されます。
  - WEP KEY：本端末の認証方式が「自動」「Open」「Share」のとき使用します。本端末のタッチパネルには「パスワード」と表示されます。

※ 付属の無線LAN初期設定シールは、大切に保管してください。
※ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているSSID、およびセキュリティキーを変更してお使いになるようおすすめします。

対応機器を確認する

本端末が対応する機器について説明します。対応機器の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。

お知らせ

- パソコンは最新状態にして、お使いください。
- USBハブ（モニタやキーボードなどにあるUSBポート含む）を経由しての動作は保証いたしかねます。
- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また動作環境以外でのご使用によるお問い合わせ、および、動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Wi-Fi接続できる機器について

IEEE802.11a/n（5GHz帯）、b/g/n（2.4GHz帯）に対応しているWi-Fi対応機器と接続することができます。

お知らせ

- 上記接続条件は、すべての機器とのWi-Fi接続を保証するものではありません。使用する機器など、お客様の環境によっては正常に動作しない場合があります。
- Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカにお問い合わせください。

USBテザリングできる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 8.1※（32ビット／64ビット）
- Windows 8※（32ビット／64ビット）
- Windows 7 SP1（32ビット／64ビット）
- Windows Vista SP2（32ビット／64ビット）
- Windows XP SP3（32ビット）
- Mac OS X 10.9（64ビット）
- Mac OS X 10.8.5（64ビット）
- Mac OS X 10.7.5（32ビット／64ビット）
- Mac OS X 10.6.8（32ビット／64ビット）

※：Windows RTは非対応となります。

お知らせ

- 上記の条件は、すべての機器とのUSBテザリングを保証するものではありません。使用する機器など、お客様の環境によっては正常に動作しない場合があります。
- USBテザリング中に本端末は充電されます。

本端末の設定を変更できる機器について

対応しているOS※1は以下のとおりとなります。

- Windows 8.1※2（32ビット／64ビット）
- Windows 8※2（32ビット／64ビット）
- Windows 7 SP1（32ビット／64ビット）
- Windows Vista SP2（32ビット／64ビット）
- Windows XP SP3（32ビット）
- Mac OS X 10.9（64ビット）
- Mac OS X 10.8.5（64ビット）
- Mac OS X 10.7.5（32ビット／64ビット）
- Mac OS X 10.6.8（32ビット／64ビット）
- Android※3
- iPhone／iPad※3

※1：対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

※2：Windows RTは非対応となります。

※3：一部設定できない機能があります。

一般的なWi-Fi対応機器を接続する

ここでは各種ゲーム機や携帯端末などの一般的なWi-Fi対応機器を例にして説明します。

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 Wi-Fi対応機器の接続設定画面を表示する

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。Wi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

3 アクセスポイントを検索する

Wi-Fi対応機器でWi-Fi設定をオンにしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。Wi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

4 接続ポイントの一覧から、本端末の「SSID」が表示されている項目を選択する

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。

5 セキュリティキーを入力し、設定を保存する

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。
- Wi-Fi対応機器によっては、暗号化方式の選択画面が表示されることがあります。本端末に設定しているセキュリティの形式（認証方式）を選択してください。→P.90

インターネット通信する／切断する

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

■ 通信を切断する場合

本端末の ⏻ を約2秒間押し続けると、通信を切断して電源を切ることができます。

お知らせ

- 本端末のみでは、接続先APNを設定できません。HW-01F設定ツール画面から設定してください。→P.81
- 本端末はWPSに対応しております。WPSに対応している機器であれば、接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。
  WPS機能の使用方法については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。
  ※ WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（認証方式）をWPA2-PSKまたはWPA/WPA2-PSKに設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.90

ニンテンドー3DSを接続する

ここでは、ニンテンドー3DS LL／3DSの場合を例にして説明します。ニンテンドーDSi LL／DSi／DS Lite／DSを使用した場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、各製品の取扱説明書などをご覧ください。

※ 手順で使用している画面例は、すべてニンテンドー3DSのものです。

- ニンテンドーDS Lite／DSを使用する場合は、無線LAN セキュリティ設定の暗号化方式を「WEP」に設定してください。ただし、セキュリティ設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi 対応機器が接続できなくなりますのでご注意ください。詳しくは「基本設定」（→P.90）をご覧ください。

1 本端末の を約2秒間押し続けて電源を入れる

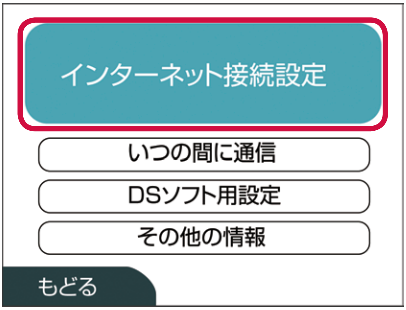
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ニンテンドー3DSのHOMEメニューから「本体設定」→「はじめる」→「インターネット設定」の順にタッチ

- ニンテンドーDSi LL／DSiの場合は「本体設定（はじめる）」→「インターネット」の順にタッチしてください。
- ニンテンドーDS Lite／DSの場合は、ニンテンドーWi-Fiコネクション対応ソフトを起動し、「Wi-Fiコネクション設定」画面を表示してください。
- 操作方法については、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

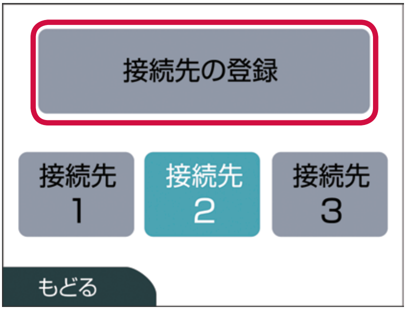
3 「インターネット接続設定」をタッチ

- ニンテンドーDSi LL／DSiの場合は「接続設定」、ニンテンドーDS Lite／DSの場合は「Wi-Fi接続先設定」をタッチしてください。



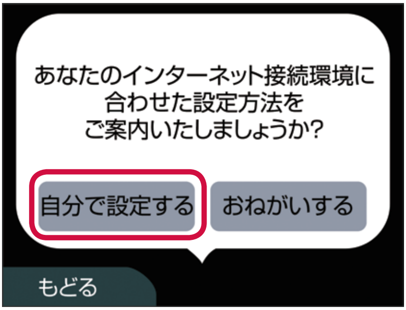
4「接続先の登録」をタッチ

- ニンテンドーDSi LL／DSiの場合は、「上級者設定」をタッチし、「未設定」と表示されている接続先の1つをタッチしてください。
- ニンテンドーDSi LL／DSi／DS Lite／DSの場合は、「未設定」と表示されている接続先の1つをタッチしてください。



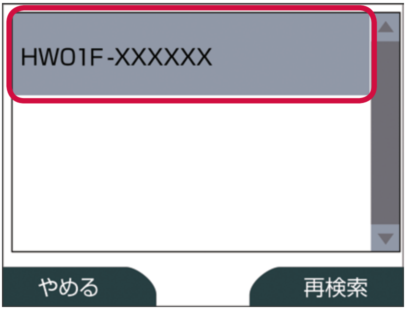
5「自分で設定する」をタッチし、「アクセスポイントを検索」をタッチ

- ニンテンドーDSi LL／DSi／DS Lite／DSの場合は、「アクセスポイントを検索」をタッチしてください。



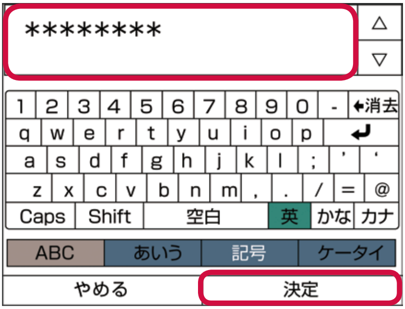
6 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタッチ

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



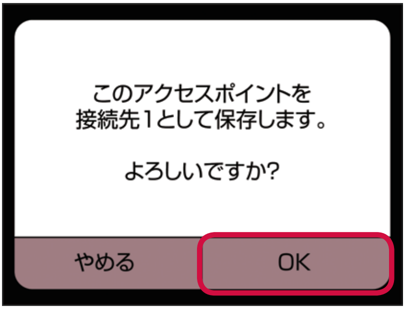
7 セキュリティキーを正しく入力し、「決定」をタッチ

- ニンテンドーDSi LL／DSiの場合は、セキュリティキーを正しく入力し、「OK」をタッチします。
- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



8 「OK」をタッチ

- ニンテンドーDS Lite／DSの場合は、「はい」をタッチしてください。



9 「OK」をタッチ

- ニンテンドーDS Lite／DSの場合は、「はい」をタッチしてください。
- 接続テストが始まります。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

PSP®「プレイステーション・ポータブル」を接続する

ここでは、PSP-2000/PSP-3000の場合を例にして説明します。PSP-1000※を使用した場合は、一部の操作および画面が異なる場合があります。詳しくは、PSP®の取扱説明書などをご覧ください。

※：PSP-1000のシステムソフトウェアver1.52以前では、一部手順が異なります。

1 本端末の を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると が表示されます。

2 PSP®のワイヤレスLANスイッチをオンにする

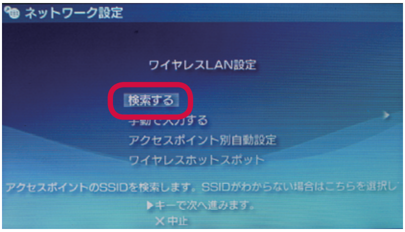
3 PSP®のホームメニュー画面から、「設定」→「ネットワーク設定」の順に選択し、○ボタンを押す

4「インフラストラクチャーモード」を選択し、○ボタンを押す

5「[新しい接続の作成]」を選択し、○ボタンを押す

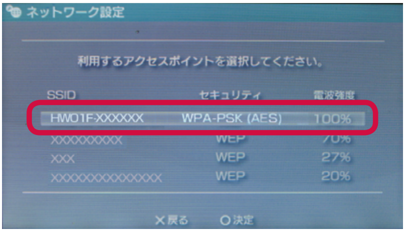
- PSP-1000の場合は、このあと、接続名を入力して方向キー「▷」を押します。

6「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押す

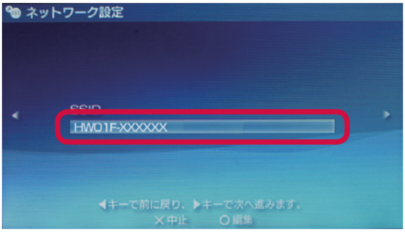


7 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目を選択し、○ボタンを押す

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



8 表示されたSSIDを確認し、方向キー「▷」を押す

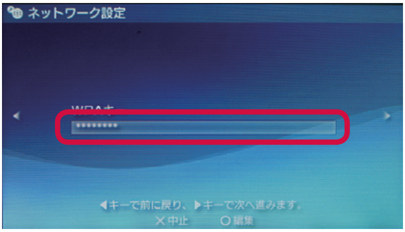


9 セキュリティ方式を選択し、方向キー「▷」を押す

- 本端末に設定しているセキュリティの形式（認証方式）を選択してください。→P.90

10 ○ボタンを押してセキュリティキーを正しく入力し、方向キー「▷」を押す

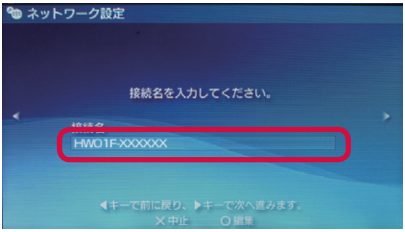
- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



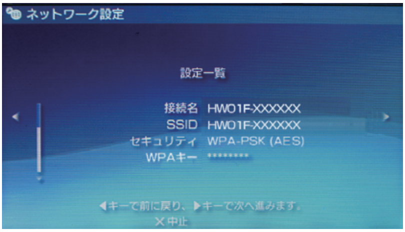
11「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押す

12 接続名を確認し、方向キー「▷」を押す

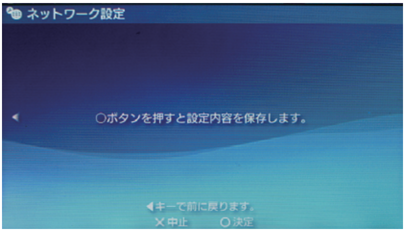
- PSP-1000の場合、この画面は表示されません。手順13へお進みください。
- 接続名は変更することができます。○ボタンを押して入力画面を表示させ、任意の接続名を入力して設定してください。



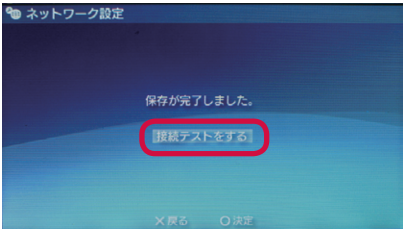
13 設定一覧を確認し、方向キー「▷」を押す



14 ○ボタンを押す



15 ○ボタンを押して接続テストを開始する



テストの結果が表示されたら設定完了です。

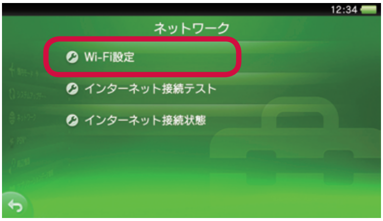
PlayStation® Vitaを接続する

1 本端末の[⏻]を2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、((•))が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると⇅が表示されます。

2 PS Vitaのホーム画面から「設定」→「はじめる」の順にタッチ

3「ネットワーク」→「Wi-Fi設定」の順にタッチ

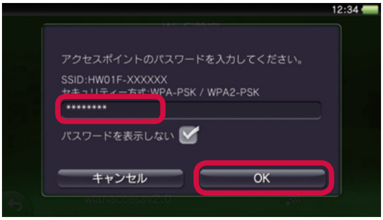


4「Wi-Fi」にチェックを入れ、本端末の「SSID」が表示されている項目をタッチ

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。

5 セキュリティキーを正しく入力し、「OK」をタッチ

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



- Wi-Fi 設定画面に戻ります。本端末の「SSID」がWi-Fi接続されていることを確認できたら設定完了です。

Android 搭載機器を接続する

ここでは、Androidスマートフォン（Android 4.2）を使用した場合を例にして説明します。お使いの機器、Androidのバージョンによって操作および画面が異なります。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

1 本端末の[⏻]を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、(•)が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると⇅が表示されます。

2 Android端末のアプリケーション一覧から「設定」→「Wi-Fi」をタップ

3 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

4 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタップ

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。

5 セキュリティキーを正しく入力し、「接続」をタップ

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。
- 画面右上にWi-Fiの電波アイコンが表示され、SSIDに「接続済み」が表示されたら設定完了です。

本端末のQRコード表示機能を使ってAndroid搭載機器を接続する

Android搭載端末に「HUAWEI Mobile WiFi 2」アプリをインストールすることで、本端末のQRコード表示機能を使って表示したQRコードをアプリでスキャンして、自動的に本端末と接続することができます。

1 本端末の[⏻]を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、((•))が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると⇅が表示されます。

2 本端末のホーム画面で「メニュー」→「QRコード表示」をタップ

本端末にQRコードが表示されていることを確認します。

3 Android端末のアプリ一覧から「Mobile WiFi」をタップ

初回起動時は「HuaweiのMobile WiFiとは」の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

4 「QRコードのスキャン」をタップ

QRコードのスキャン画面が表示されます。

5 Android端末のカメラで、本端末のタッチパネルに表示されているQRコードを読み取る

- 画面右上にWi-Fiの電波アイコンが表示されたら設定完了です。

お知らせ

- 本端末のQRコード表示機能を使ってAndroid 搭載機器を接続するには、Android搭載機器にあらかじめ「HUAWEI Mobile WiFi 2」アプリをインストールしておく必要があります。
- 「HUAWEI Mobile WiFi 2」アプリはGoogle Play™からダウンロードしてください。
- 「HUAWEI Mobile WiFi 2」以外のアプリで本端末のQRコードを読み取っても、自動で接続することはできません。必ず「HUAWEI Mobile WiFi 2」アプリをお使いください。
- QRコードを読み取っても自動で本端末と接続できないときは、本書の「Android搭載機器を接続する」を参照して接続してください。
- 「HUAWEI Mobile WiFi 2」アプリについてご不明な点は、本アプリのディベロッパーまたは以下のホームページよりお問い合わせください。
  http://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm

iPhone／iPod Touch／iPadを接続する

ここでは、iPhone／iPod Touch／iPadでの接続手順を説明します。

- 一度設定を完了すると、周囲に接続可能なアクセスポイントが存在するときは、設定済みのアクセスポイントへ自動的に接続されます。
- 登録済みのアクセスポイントが複数存在する場合は、一番最後に設定したアクセスポイントへ自動的に接続されます。

1 本端末の を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 iPhone／iPod Touch／iPadのホーム画面から「設定」→「Wi-Fi」をタップ

3「Wi-Fi」をオンにする

4 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタップ

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。

5 セキュリティキーを正しく入力し、「Join」をタップ

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。
- 画面左上にWi-Fiの電波アイコンが表示され、SSIDにチェックアイコンが表示されたら設定完了です。

Windowsパソコンを接続する

ここではWindows 8.1とWindows 7の場合を例にして説明します。

Windows 8.1／8

- マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、ご使用の機器の取扱説明書などをご覧ください。

1 本端末の［⏻］を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、((•))が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると⇅が表示されます。

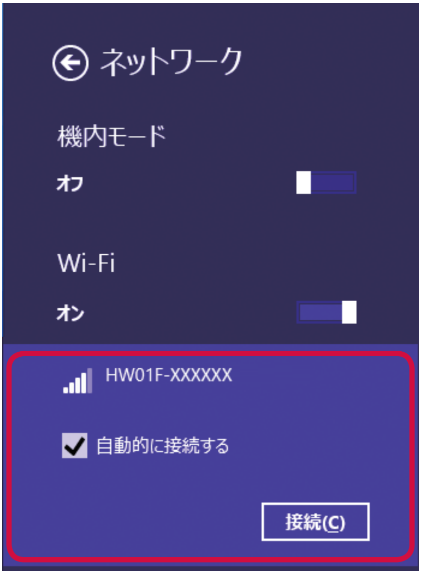
2 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

3 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで⚙（設定）をクリック

4 （利用可能）をクリック

5 本端末の「SSID」を選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



6 セキュリティキーを入力し、「次へ」をクリック

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。
- PCの共有についてのメッセージが表示される場合があります。PCの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。

Windows 7

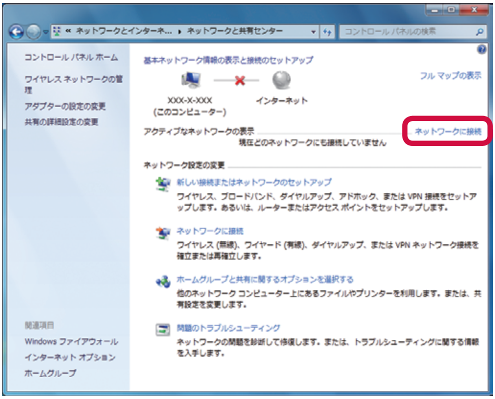
1 **本端末の[⏻]を約2秒間押し続けて電源を入れる**

Wi-Fi機能がオンになり、((•))が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると⇅が表示されます。

2 **パソコンのWi-Fi機能をオンにする**

3 **「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリック**

4 **「ネットワークに接続」をクリック**

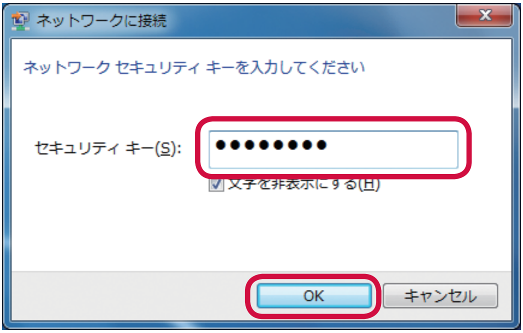


5 本端末の「SSID」を選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。

6 セキュリティキーを入力し、「OK」をクリック

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



Macを接続する

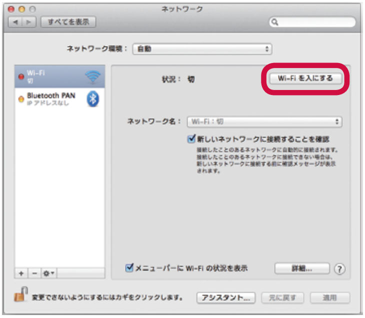
ここではMac OS X 10.9の場合を例にして説明します。

1 本端末の を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると が表示されます。

2 アップルメニューから「システム環境設定...」をクリックし、「ネットワーク」をクリック

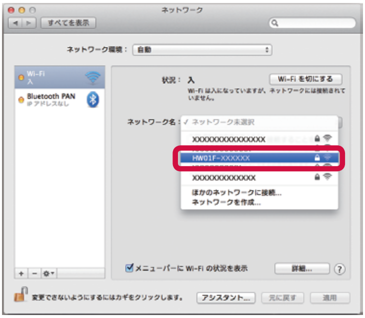
3「Wi-Fi」をクリックし、「Wi-Fiを入にする」をクリックしてWi-Fi機能をオンにする



- 「新しいネットワークに接続することを確認」にチェックが入っていると、Wi-Fiを入にしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、「キャンセル」をクリックして「ネットワーク」の画面に戻ってください。

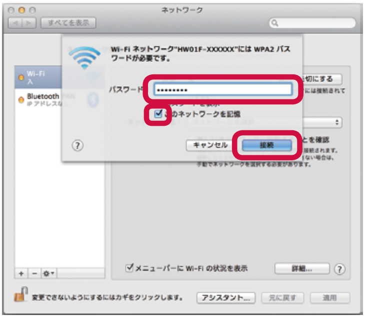
4「ネットワーク名」のプルダウンリストから本端末の「SSID」を選択する

- 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



5 セキュリティキーを「パスワード」欄に入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付け、「接続」をクリック

- セキュリティキーは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



USB接続ケーブルで接続／通信する

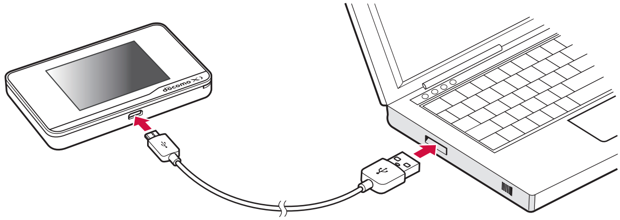
本端末は、付属のUSB接続ケーブルHW02で直接パソコンに接続し、データの送受信ができます。

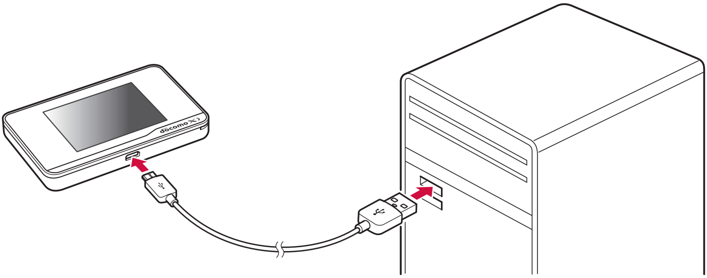
1 **ドコモminiUIMカードを取り付けた本端末のmicroUSBコネクタに、USB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして水平に差し込む**

2 **USB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSB端子に接続する**

パソコンが本端末を認識します。本端末を認識するまで時間がかかることがあります。

- 本端末を初めてUSB接続ケーブルで接続したときは、通信設定ソフト（ドライバ）のインストールを行います。→P.56、P.65





お知らせ

- データ通信中にUSBケーブルをパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
- 本端末をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド／レジューム／スリープ）、または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本端末を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
- 本端末を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本端末を取り外してください。

Windowsパソコンを接続する

通信設定ソフト（ドライバ）をインストールする

HW-01F設定ツールのインストールは、利用するパソコンに初めて接続するときのみ行います。画面表示や手順は、Windows 7を例としています。→P. 36

- インストールを行うときは、OSが起動してからパソコンのUSB端子に本端末を取り付けてください。
- インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ご使用のパソコンによっては、インストールに多少時間がかかることがあります。
- インストールにはハードディスクの空き容量が100MB以上必要です（システム環境によっては異なることがあります）。
- データの送受信中には、インストールおよびアンインストールを行わないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- パソコン管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

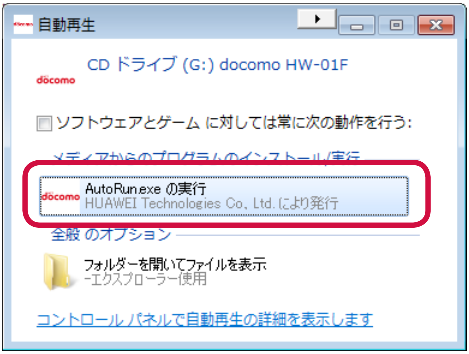
1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

3 「AutoRun.exeの実行」をクリック

HW-01F設定ツールのセットアップ画面が表示されます。

- Windows 8.1／8をお使いの場合は表示されません。次の手順へ進んでください。



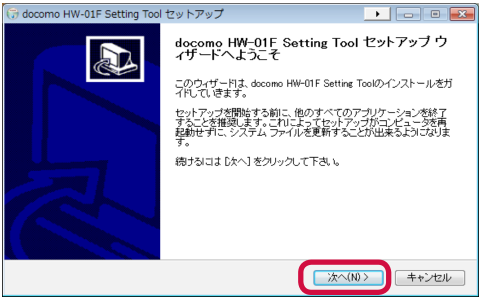
※ HW-01F設定ツールのセットアップ画面が表示されない場合は、P.61をご覧ください。

4「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリック

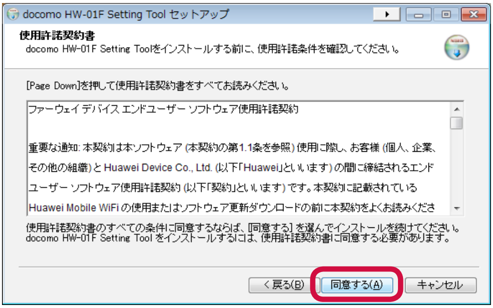
- Windows Vistaをお使いの場合は「続行」をクリックします。
- Windows XPの場合は表示されません。次の手順へ進んでください。

5 プルダウンリストから「Japanese（日本語）」を選んで「OK」をクリック

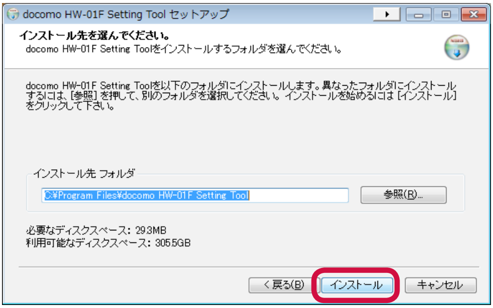
6「次へ」をクリック



7「使用許諾契約書」の内容を確認の上、「同意する」をクリック



8 インストール先フォルダを指定し、「インストール」をクリック



インストールが始まります。

9 「W-TCP機能を使用する(推奨)」のチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリック

10 パソコンを再起動する

デスクトップにHW-01F設定ツールのショートカットアイコンが表示されれば、インストールは完了です。

お知らせ

- 本端末のドライバは、Windowsストア対応ではないため、Windows 8.1／8をご利用の場合でも、インストール／アンインストールはデスクトップ画面で実行されます。また、インストール後のショートカットアイコンはデスクトップ画面にのみ表示されます。

接続状況を確認する

本端末とパソコンが正しく接続されているかを確認します。

■ Windows 8.1／8をお使いの場合

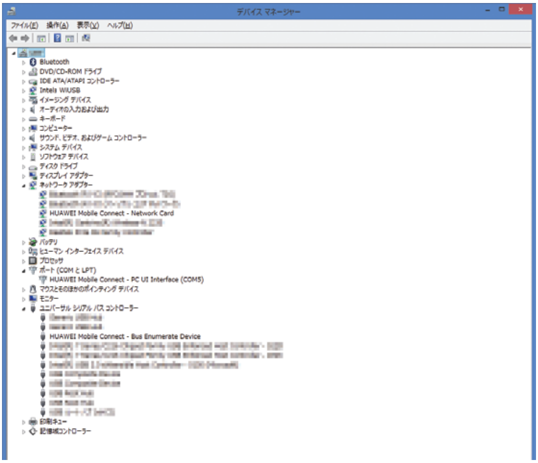
1 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで ⚙（設定）をクリックする

2 「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」画面を表示する

3 「システムとセキュリティ」→システムの「デバイス マネージャー」の順にクリックする

4 以下のデバイスが表示されることを確認する

- ネットワーク アダプター：HUAWEI Mobile Connect - Network Card
- ポート（COM と LPT）：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface(COMXX)
- ユニバーサル シリアル バス コントローラー：HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerate Device



■ Windows 7、Windows Vista、Windows XPをお使いの場合

1 「スタート」メニューから「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする

- Windows Vistaの場合は「スタート」メニューから「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- Windows XPの場合は「スタート」メニューから「マイ コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 「デバイス マネージャー」をクリックする

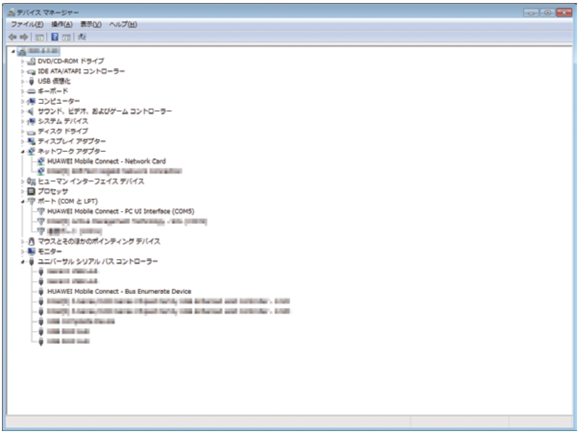
- Windows Vistaの場合は「デバイス マネージャ」をクリックします。
- Windows XPの場合は「ハードウェア」のタブを選択し、「デバイス マネージャ」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたらWindows 7の場合は「はい」、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。

3 以下のデバイスが表示されることを確認する

COMポートの番号（XX）はお使いのパソコンの環境によって異なります。

- ネットワーク アダプター※1：HUAWEI Mobile Connect - Network Card
- ポート（COM と LPT）：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface(COMXX)
- ユニバーサル シリアル バス コントローラー※2：HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerate Device

※ 1：Windows Vista／Windows XPの場合は、ネットワーク アダプタと表示されます。
※ 2：Windows Vistaの場合はユニバーサル シリアル バス コントローラ、Windows XPの場合は、USB (Universal Serial Bus) コントローラと表示されます。



自動的に通信設定ソフト（ドライバ）がインストールされない場合

お使いのパソコンの環境や設定によっては、インストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は下記の手順でインストールしてください。

※ まずパソコンを起動し、本端末を接続した状態にしてください。

■ Windows 8.1／8の場合

- マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

1 デスクトップ画面左下をマウスでポイントし、右クリック

2 「エクスプローラー」をクリック

3 「docomo HW-01F」をダブルクリック

4 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」をクリック

5 言語を選択し「OK」をクリック

※「docomo HW-01F Setting Toolセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。以降は「通信設定ソフト（ドライバ）をインストールする」の手順5以降に従って操作を進めてください。→P.56

■ Windows 7、Windows Vista、Windows XPをお使いの場合

1 「スタート」メニューから「コンピューター」をクリック

- Windows Vistaの場合は「スタート」メニューから「コンピュータ」をクリックします。
- Windows XPの場合は「スタート」メニューから「マイ コンピュータ」をクリックします。

2 「docomo HW-01F」アイコンをダブルクリック

3 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」をクリック

- Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。
- Windows XPの場合は表示されません。次の手順へ進んでください。

4 言語を選択し「OK」をクリック

※「docomo HW-01F Setting Toolセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。以降は「通信設定ソフト（ドライバ）をインストールする」の手順5以降に従って操作を進めてください。→P.56

インターネットに接続する／切断する

1 本端末の⏻を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

■ 通信を切断する場合

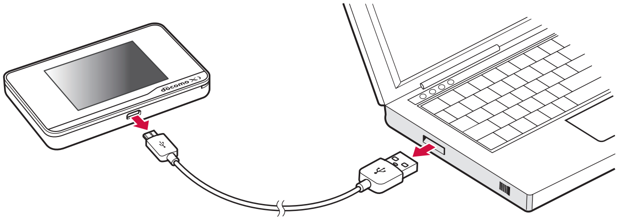
本端末の⏻を約2秒間押し続けると、通信を切断して電源を切ることができます。

お知らせ

- 本端末のみでは、接続先APNを設定できません。HW-01F設定ツール画面から設定してください。→P.81

パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。



通信設定ソフト（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ソフト（ドライバ）を削除する場合、本端末を取り外したあと、以下の手順で操作を行ってください。以降の画面と手順は、Windows 7を例としています。

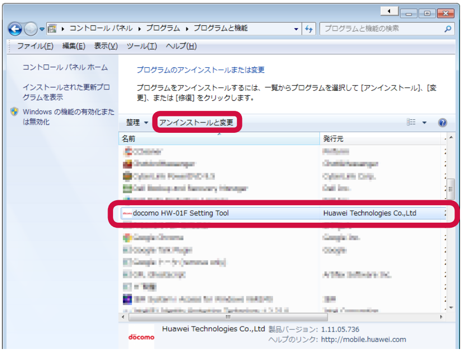
- アンインストール作業は、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

1 「スタート」→「コントロール パネル」→「プログラム」→「プログラムと機能」の順に選択する

- Windows XPの場合は、「スタート」→「コントロール パネル」→「プログラムの追加と削除」の順に選択します。

2 「docomo HW-01F Setting Tool」を選択して、「アンインストールと変更」をクリック

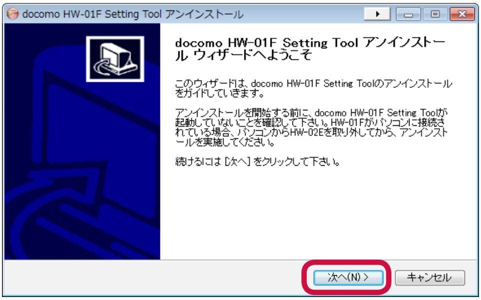
- Windows XPの場合は、「docomo HW-01F Setting Tool」を選択して、「変更と削除」をクリックします。



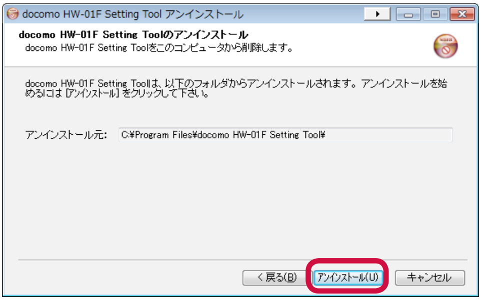
3 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」をクリック

- Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。
- Windows XPの場合は表示されません。次の手順へ進んでください。

4 「次へ」をクリック



5「アンインストール」をクリックして実行する



6「W-TCP機能の最適化を解除する（推奨）」にチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリック

これでアンインストールは完了です。

7 パソコンを再起動する

アンインストール完了後は、パソコンを再起動してください。

Macを接続する

通信設定ソフト（ドライバ）をインストールする

HW-01F設定ツールのインストールは、利用するパソコンに初めて接続するときのみ行います。
画面表示や手順は、Mac OS X 10.9を例としています。→P. 36

- インストールを行うときは、OSが起動してからパソコンのUSB端子に本端末を取り付けてください。
- インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ご使用のパソコンによっては、インストールに多少時間がかかることがあります。
- インストールにはハードディスクの空き容量が100MB以上必要です（システム環境によっては異なることがあります）。
- データの送受信中には、インストールおよびアンインストールを行わないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- パソコン管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、アップル社にお問い合わせください。

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

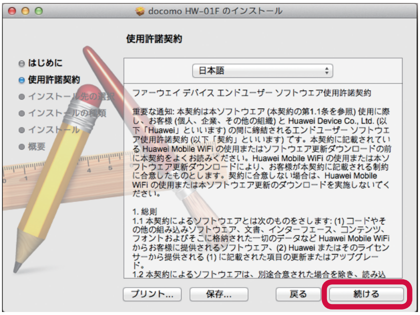
2 本端末をパソコンに接続する

docomo HW-01Fフォルダが自動的に開きます。

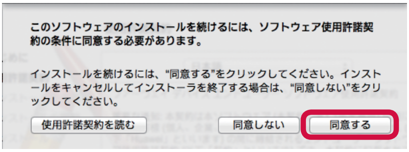
3 「docomo HW-01F_Driver」アイコンをダブルクリック

4 「続ける」をクリック

5「続ける」をクリック



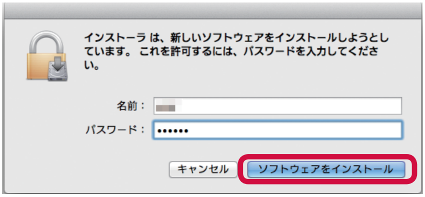
6「使用許諾契約」を読み「同意する」をクリック



- 「インストール先の選択」画面が表示された場合は、インストール先を選択して、「続ける」をクリックしてください。

7「インストール」をクリック

8 パソコン管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力して「ソフトウェアをインストール」をクリック



「OK」をクリックするとインストールが始まります。

9「インストールが完了しました」と表示されたら「閉じる」をクリック

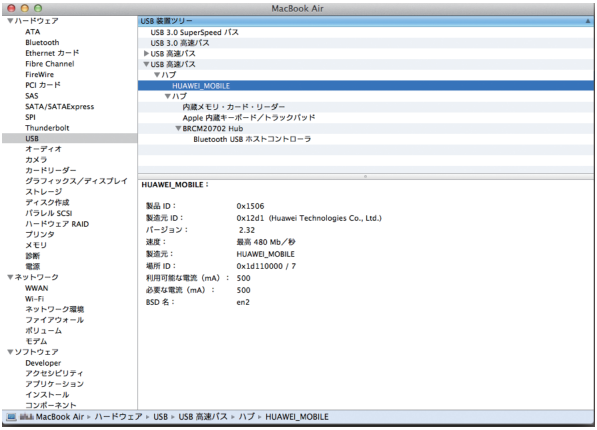
接続状況を確認する

本端末とパソコンが正しく接続されているかを確認します。

1 アップルメニューから「このMacについて」→「詳しい情報...」→「概要」タブの順にクリック

2 「システムレポート...」をクリック

3 「USB」の項目をクリックし、「HUAWEI Mobile」が表示されていることを確認する



インターネット通信する/切断する

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

■ 通信を切断する場合

本端末の ⏻ を約2秒間押し続けると、通信を切断して電源を切ることができます。

お知らせ

- 本端末のみでは、接続先APNを設定できません。HW-01F設定ツール画面から設定してください。→P.81

パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

通信設定ソフト（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ソフト（ドライバ）を削除する場合、本端末を取り外したあと、以下の手順で操作を行ってください。

1 をクリックして、Finderの画面を表示する

2 「アプリケーション」をクリックする

3 「docomo HW-01F Uninstall」をダブルクリックする

- 確認のメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

4 パソコン管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリック

- アンインストール完了のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

各種設定（Webブラウザ）

HW-01F設定ツールについて 70
HW-01Fの状態を確認する . . . . <ホーム> 77
各種機能の詳細設定をする . . . . <設定> 78
データ通信量を確認する . . . . <通信利用状況> 109
ソフトウェアの更新をする . . . . <ソフトウェア更新> 110

HW-01F設定ツールについて

本端末にUSB接続ケーブルまたはWi-Fiで接続したパソコンから、Webブラウザを使用して本端末の各種機能を設定することができます。

- Wi-Fiで接続したパソコンから、HW-01F設定ツールで「Wi-Fi設定」の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンの設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。
- マルチSSIDを設定時(→P.90)に、SSID 2を使用して本端末とWi-Fi接続している場合、HW-01F設定ツールを使用することはできません。
- HW-01F設定ツールを同時に複数のパソコンで表示／設定することはできません。
- 本端末でも一部の機能を設定することができます。→P.111
- 本端末でタッチパネルを表示中はHW-01F設定ツールで設定できません。また、HW-01F設定ツールで設定中に本端末のタッチパネルを操作すると、HW-01F設定ツールでの設定が中断される場合があります。
- Android端末およびiOS端末からも設定ツールを使用できますが、携帯端末用の表示となるため、一部設定できない機能があります。利用できる機能は以下のとおりです。詳細な設定をする場合は、パソコンのご使用をおすすめします。

設定項目		パソコン版	携帯版
クイック設定		○	○
プロバイダ設定		○	○
公衆無線LAN	設定	○	○
	優先度	○	×
モバイルネットワーク	PIN1コード管理	○	×
	ネットワーク設定	○	○
	データ通信量表示	○	×
	最大データ通信量	○	×
	通知設定	○	×
Wi-Fi設定	基本設定	○	△
	詳細設定	○	×
	WPS設定	○	×
	MACアドレスフィルタ	○	×
	DHCP	○	×
ルータ設定		○	×
システム		○	×
通信利用状況		○	×
ソフトウェア更新		○	×

（○：対応　×：非対応　△：一部設定できない機能あり）

対応するWebブラウザ

本端末は以下のWebブラウザに対応しています。

■ Windowsの場合

- Windows XP SP3／32ビット：Microsoft Internet Explorer 6 以上
- Windows 7 SP1、Windows Vista SP2／32ビット・64ビット：Microsoft Internet Explorer 8 以上
- Windows 8.1、8／32ビット・64ビット：Microsoft Internet Explorer 10 以上
- Mozilla Firefox 25以上
- Google Chrome™

■ Mac OS Xの場合

- Safari 6以上
- Opera 12以上
- Mozilla Firefox 25以上
- Google Chrome™

HW-01F設定ツールを起動する

Windowsの場合

- 事前に通信設定ソフト（ドライバ）のインストールを行ってください。→P.56

1 パソコンを起動し、本端末とUSB接続ケーブルまたはWi-Fiで接続する

2 デスクトップ上にある「docomo HW-01F Setting Tool」アイコンをダブルクリック

ホーム画面が表示されます。

3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

■ 終了するには

HW-01F設定ツール画面で、「ログアウト」→「OK」をクリックします。

Macの場合

- 事前に通信設定ソフト（ドライバ）のインストールを行ってください。→P.65

1 パソコンを起動し、本端末とUSB接続ケーブルまたはWi-Fiで接続する

2 Dockの「docomo HW-01F Setting Tool」アイコンをクリック

ホーム画面が表示されます。

3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

■ 終了するには

HW-01F設定ツール画面で、「ログアウト」→「OK」をクリックします。

Android 搭載端末の場合

1 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://hw-01f.home/」と入力

ログイン画面が表示されます。

- 言語を変更する必要がある場合は、言語表示をタップして言語を選択してください。

2 パスワードを入力→「ログイン」をタップ

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

■ 終了するには

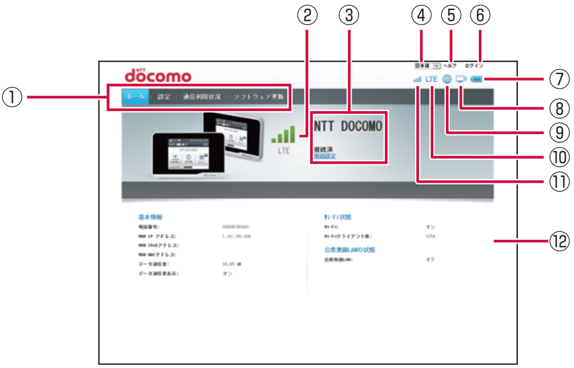
HW-01F設定ツール画面で、「ログアウト」→「OK」をタップします。

お知らせ

- PIN1コード認証が有効になっている状態でHW-01F設定ツールを起動すると、PIN1コード認証画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力し「適用」をクリックしてください。
- PIN1コード認証を無効にするには「PIN1コード管理」で設定を変更してください。→P.86
- セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをおすすめします。変更方法については、「パスワードの変更」をご覧ください。→P.106
- HW-01F設定ツールの操作が5分間ない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。
- 本端末のプライベートIPアドレス（LAN側IPアドレス）が変更されていると、「docomo HW-01F Setting Tool」アイコンをダブルクリックしてもログイン画面が表示されません。その場合は、Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」と入力して、HW-01F設定ツールを起動してください。
  本端末のお買い上げ時のプライベートIPアドレスは、「192.168.8.1」に設定されています。本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認することができます。→P.123

HW-01F設定ツール画面の見かた

パソコン版画面



① **メニューリスト**

　メニュー項目をクリックして、ページを切り替えます。

②**受信レベル表示**

　インターネット接続の場合

　・⇔：受信レベル「強」⇔「弱」

　公衆無線LAN接続の場合

　・：公衆無線LANに接続中

　・⇔：受信レベル「強」⇔「弱」

③**インターネット接続状態**

　接続中の通信事業者などの情報を表示します。

　接続済：インターネット接続中に表示されます。

④ **English／日本語**

　メニューから選択して、表示言語を切り替えることができます。

⑤ **ヘルプ**

　ドコモのホームページにアクセスして、取扱説明書のダウンロードなどができます。

⑥ **ログイン／ログアウト**

　クリックしてHW-01F設定ツールにログイン／ログアウトします。

⑦ **電池残量アイコン**

　電池残量を表示します。

　・ ⇔ ：電池残量「多い」⇔「少ない」

　・：電池残量がほとんど残っていません。直ちに充電してください。

　・ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ：充電中

⑧ **Wi-Fi機能オン表示**

　Wi-Fi機能がオンになっているときに表示されます。

⑨ **インターネット接続表示アイコン**

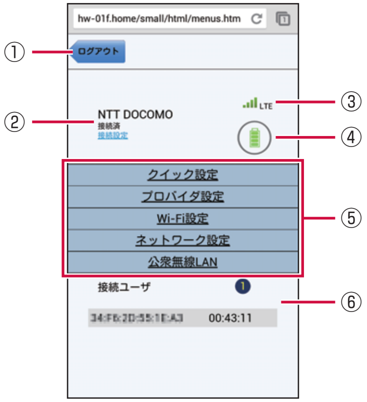
　インターネットの接続状態を表示します。接続中の場合はアイコンが水色になります。

⑩ ネットワークアイコン
接続しているネットワークの種類（LTE／3G／GSM）を表示します。
公衆無線LAN接続時には も表示されます。
・ ⇔ ：受信レベル「強」⇔「弱」
※ ドコモminiUIMカードが取り付けられていない、または無効になっている場合は、UIMカードアイコン（ ）が表示されます。

⑪ 受信アイコン
現在の受信レベルを表示します。
・ ⇔ ：受信レベル「強」⇔「弱」

⑫ ホームページ
各機能の設定／情報画面、またはアイコンメニューが表示されます。

携帯版画面



① ログアウト

タップしてHW-01F設定ツールからログアウトします。

② 接続状況

接続中の通信事業者などの情報を表示します。

接続済：インターネット接続中に表示されます。

③ 受信アイコン

現在の受信レベルとネットワークの種類を表示します。

インターネット接続の場合

・ ⇔ ：受信レベル「強」⇔「弱」

公衆無線LAN接続の場合

・ ：公衆無線LANに接続中

・ ⇔ ：受信レベル「強」⇔「弱」

④ 電池残量アイコン

電池残量を表示します。

・ ⇔ ：電池残量「多い」⇔「少ない」

・ ：電池残量がほとんど残っていません。直ちに充電してください。

・ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ：充電中

⑤ 設定メニュー

タップすると設定のメニューを表示します。

・クイック設定→P.79
・プロバイダ設定→P.81
・Wi-Fi設定→P.89
・ネットワーク設定→P.87
・公衆無線LAN→P.83

⑥ 接続ユーザ

接続ユーザ数と接続されている機器のMACアドレス、接続時間が表示されます。

HW-01Fの状態を確認する

インターネットへの接続状態、基本情報、Wi-Fiの状態、公衆無線LANの状態を確認できます。
事前に、パソコンでHW-01F設定ツール画面を起動しておきます。→P.72

1 メニューリストの「ホーム」をクリック

各種機能の詳細設定をする

インターネット接続、Wi-Fi機能など各種の詳細設定をHW-01F設定ツール画面から操作できます。
事前に、パソコンでHW-01F設定ツール画面を起動しておきます。→P.72

1 メニューリストの「設定」をクリック

設定画面が表示されます。

- クイック設定
  画面に表示される手順にしたがって、本端末を安全・簡単に設定することができます。→P.79
- プロバイダ設定
  プロファイル（接続設定）に関する設定をします。→P.81
- 公衆無線LAN
  公衆無線LAN機能の設定をします。→P.83
- モバイルネットワーク
  PIN1コードの管理やネットワークに関する設定をします。→P.85
- Wi-Fi設定
  Wi-Fi機能に関する設定をします。→P.89
- ルータ設定
  セキュリティに関する設定をします。→P.95
- システム
  システムに関する設定をします。本端末の再起動も可能です。→P.105

2 設定する機能名をクリック

クイック設定

ウィザードにしたがって本端末の設定を安全・簡単に行うことができます。
設定項目の説明が画面上に表示されますので、よくお読みになり、設定してください。

1 設定画面で「クイック設定」をクリック

2「次へ」をクリック

3 Wi-Fi設定の構成を確認し、「次へ」をクリック

4 Wi-Fi設定の構成を設定し、「次へ」をクリック

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名（SSID）を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「.」「-」「_」、「（半角スペース）」※2	※1
SSIDブロードキャスト	SSIDブロードキャストの設定をします。	有効、無効	有効
セキュリティ	セキュリティを選択します。「自動」、「Open」または「Share」を選択するとWEP認証方式として設定されます。	自動、Open、Share、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
暗号化方式	暗号化方式を選択します。	AES、TKIP、AES+TKIP	AES
パスワード	使用するパスワードを指定します。「セキュリティ」で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。	半角64文字まで	※1
ネットワーク キー1	WEPキーを指定します。「セキュリティ」で「自動」、「Open」または「Share」を選択しているときに表示されます。	―	※1

※1：お買い上げ時の設定については、付属の無線LAN 初期設定シールと、銘板シールをご覧ください。

※2：（半角スペース）は文頭には使用できません。

5 公衆無線LANを設定し、「次へ」をクリック

- 事前に公衆無線LANを「オン」にしている場合に設定できます。→P.84

6 設定内容を確認し、「終了」をクリック

プロバイダ設定

プロファイル（接続設定）を新規作成、編集、削除できます。
あらかじめ設定されているプロファイル（mopera U）以外に、最大99件までプロファイルを追加することができます。
ここでは例として、プロファイルを新規作成する操作を説明します。

1「新規プロファイル」をクリック

■使用するプロファイルを変更するには

「プロファイル名」から、使用したいプロファイルを選択します。APN名、ユーザ名、パスワード、認証方式が表示されます。

※ 現在設定されているプロファイルには、プロファイル名の後ろに「(デフォルト)」が表示されます。

■既存のプロファイルを編集するには

「プロファイル名」から、編集するプロファイルを選択して、「編集」をクリックし、手順2以降を行います。

■削除するには

「プロファイル名」から削除するプロファイルを選択し、「削除」をクリックします。

2 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲
プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）
APN名	APN（アクセスポイント名）を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」、「（半角スペース）」は除く）
ユーザ名	ユーザー名を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）
パスワード	パスワードを設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）
認証方式	認証方式を設定します。	自動、PAP、CHAP
IPタイプ	IPタイプを設定します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6

3「保存」をクリック

※ 登録したプロファイルの設定で通信が開始されます。設定したプロファイルの内容により、パケット通信（課金対象）が発生しますのでご注意ください。

公衆無線LAN

公衆無線LAN機能の設定をします。

1 設定画面で「公衆無線LAN」をクリック

「公衆無線LAN」のメニューが表示されます。

2 設定する機能をクリック

機　能	説　明	参照先
設定	外出先で接続できるWi-Fiホットスポットや、自宅や会社の無線LANルータなどを利用して、Wi-Fiでインターネットに接続できます。	P.84
優先度	登録済みのアクセスポイントの優先度を設定します。	P.84

お知らせ

- 公衆無線LAN接続時に、本端末のIPアドレスと公衆無線LANのIPアドレスが競合した場合、本端末は自動的にIPアドレスを変更します。必要に応じてIPアドレスの再設定をおこなってください。→P.94
  本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認することができます。
  →P.123

設定

1「オン」をクリック

公衆無線LAN機能が有効になります。

自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なアクセスポイント名が一覧で表示されます。

- 「スキャン」をクリックすると、再度Wi-Fiネットワークのスキャンを開始します。
- 公衆無線LAN機能が有効の状態で、「オフ」をクリックすると公衆無線LAN機能が無効になります。
- 「オン」または「オフ」をクリックするとネットワークの変更のために、ネットワークが切断され、自動的に再接続されます。Wi-Fi機器との接続も切断されますので、ご注意ください（設定後にWi-Fi機器から再接続を行ってください）。
  また、本端末の再起動時と同様に、HW-01F設定ツールからログアウトされるため、HW-01F設定ツールの画面が「ホーム」画面に自動的に戻らない時は、ブラウザを再起動してください。

2 接続したいアクセスポイント名の右側にある「接続」をクリック

セキュリティで保護されたアクセスポイントに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をクリックしてください。

- 「ネットワークの追加」をクリックして、手動でアクセスポイントの追加／接続をすることもできます。

お知らせ

- 設定をオンにすると、Wi-Fi接続がモバイルネットワークでの接続よりも優先されます。モバイルネットワークでの接続をするときは、オフにしてください。

優先度

登録済みのアクセスポイントの優先度を設定します。

1 アクセスポイント名の右側にある「↑」「↓」をクリックして、順番を入れ替える

- 「削除」をクリックして、アクセスポイントの設定を削除することもできます。

2「適用」をクリック

モバイルネットワーク

PIN1コード管理やデータ通信量表示などの設定を変更できます。

1 設定画面で「モバイルネットワーク」をクリック

「モバイルネットワーク」のメニューが表示されます。

2 設定する機能をクリック

機　能	説　明	参照先
PIN1コード管理	PIN1コード認証の有効／無効の設定、PIN1コードの変更ができます。	P.86
ネットワーク設定	接続するネットワークの優先度と検索方法を設定します。	P.87
データ通信量表示	通信量の合計、最大通信量を表示するかどうかを設定します。	P.87
最大データ通信量	最大データ通信量を設定します。	P.87
通知設定	データ通信量の通知設定をします。	P.88

PIN1コード管理

PIN1コード認証の有効／無効の設定、PIN1コードの変更ができます。

■ PIN1コードを有効／無効に設定するには

1「PIN1コード認証の設定」で「有効」／「無効」を選択

2「PIN1コード入力」に正しいPIN1コードを入力し、「適用」をクリック

■ PIN1コードを変更するには

1「PIN1コード認証の設定」から「変更」を選択し、以下の項目を設定する

- PIN1コードの変更は、PIN1コード認証が「有効」に設定されている場合のみ行えます。

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
PIN1コード入力	現在設定されているPIN1コードを入力します。	4～8桁の数字	（なし）
新PIN1コード入力	新しいPIN1コードを入力します。	4～8桁の数字	（なし）
PIN1コード確認	確認のため、新しいPIN1コードを再入力します。	4～8桁の数字	（なし）

2「適用」をクリック

お知らせ

- PIN1コード認証を有効に設定すると、本端末の電源を入れたときに、正しいPIN1コードを入力する必要があります。
- PIN1コード認証が有効になっている状態で、本端末でPIN1コードを入力する前にHW-01F設定ツールを起動すると、PIN1コード認証画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力し「適用」をクリックしてください。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。
  PIN1コードがロックされている状態でHW-01F設定ツールを起動すると、PINロック解除コード（PUK）の認証画面が表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力し、「適用」をクリックしてください。

ネットワーク設定

接続できるネットワークの優先度と検索する方法を設定します。

- 優先モードを変更した場合や、ネットワークの検索中は、ネットワークから切断される（圏外になる）ことがあります。設定を変更する際には、ご注意ください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
優先モード	優先で接続するネットワークの種類を選択します。	LTE／3G／GSM（自動）、LTE／3G、GSM	LTE／3G／GSM（自動）
検索モード	検索方法を選択します。	自動、手動	自動

2「適用」をクリック

「ネットワーク検索」の「検索モード」で「手動」を選択した場合には、利用可能なネットワークが表示されます。利用したいネットワークを選択し、「OK」をクリックします。

データ通信量表示

通信量の合計、最大通信量を表示するかどうかを設定します。

1「オン」／「オフ」を選択する

- 初期値は「オン」です。

2「適用」をクリック

最大データ通信量

最大データ通信量を設定します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
HW-01Fのホーム画面に表示する最大データ通信量（GB）	最大データ通信量の値を設定します。	1～99	0

2「適用」をクリック

■ 通知設定

データ通信量の通知設定をします。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
データ通信量が設定値になったときに通知する	データ通信量が設定値になったときに通知するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
通知するデータ通信量	通知する場合のデータ通信量を、「最大データ通信量」で設定した値に対するパーセントで設定します。	1～100%	90%

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能に関する詳細な設定ができます。

1 設定画面で「Wi-Fi設定」をクリック

「Wi-Fi設定」のメニューが表示されます。

2 設定する機能をクリック

機　能	説　明	参照先
基本設定	Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。	P.90
詳細設定	Wi-Fiの詳細機能を設定できます。	P.91
WPS設定	WPS PINコードを使用してWPSのアクセス認証情報を確認できます。	P.92
MACアドレスフィルタ	Wi-Fi対応機器のMACアドレスを登録してWi-Fi接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。	P.93
DHCP	LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。	P.94

■ 基本設定

Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。
- SSID 2を「オン」にすると、マルチSSIDとして利用することができます。マルチSSIDとして利用する場合は、SSID 1（プライマリSSID）、SSID 2（セカンダリSSID）の両方に設定を行う必要があります。SSID 2の初期値は「オフ」です。
- 本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで、マルチSSID利用時はSSID 1に5台、SSID 2に4台の合計9台まで）接続できます。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
名前（SSID）	ネットワーク名（SSID）を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「.」「-」「_」、「（半角スペース）」	※
セキュリティ	セキュリティを選択します。「自動」、「Open」または「Share」を選択するとWEP認証方式として設定されます。	自動、Open、Share、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
暗号化方式	暗号化方式を選択します。	AES、TKIP、AES+TKIP	AES
パスワード	使用するパスワードを指定します。「セキュリティ」で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。	半角64文字まで	※
ネットワークキー1～4	WEPキーを指定します。「セキュリティ」で「自動」、「Open」または「Share」を選択しているときに表示されます。	ー	※
現在のネットワークキー	規定値のWEPキーを設定します。「セキュリティ」で「自動」、「Open」または「Share」を選択しているときに表示されます。	ネットワークキー1～4	ネットワークキー1
APアイソレーション	オンにすると、SSID 1、SSID 2それぞれに接続したWi-Fi機器間での通信を遮断します。SSID 1、SSID 2の間での通信はできません。	オン、オフ	オフ
SSIDブロードキャスト	SSIDブロードキャストの設定をします。	有効、無効	有効
パスワードの表示	チェックを入れると、パスワードを表示します。	オン、オフ	オフ

※：お買い上げ時の設定については、付属の無線LAN 初期設定シールと、銘板シールをご覧ください。

2 「適用」をクリック

お知らせ

- マルチSSIDの機能（SSID 2）を「オン」にした場合には、公衆無線LANを使用することができなくなりますのでご注意ください。
- マルチSSID機能を「オン」にしているとき「詳細設定」で「Wi-Fiモード」を「5GHz」に設定すると、マルチSSID機能は自動的に「オフ」になります。

詳細設定

Wi-Fiの詳細な設定を行うことができます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。
- Wi-Fiに許容される通信速度やチャンネルなどの設定値は、国によって異なります。本端末を日本国外でお使いになる場合、正しい国名を設定して、各国の通信事情に十分注意してご利用ください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
利用国判別	国名を自動で判別するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
国	国名を選択します。	（リスト項目）	日本
Wi-Fiモード	使用する周波数を設定します。	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
チャンネル	使用チャンネルを選択します。	2.4GHz：自動、1～13 5GHz：自動、100～140	自動
Wi-Fi自動オフ	Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で、Wi-Fi機能を自動的にオフするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
Wi-Fiオフ時間（分）	Wi-Fi自動オフが「有効」の場合に、自動オフするまでの時間を設定します。	10、20、30	10
Wi-Fi帯域幅	Wi-Fiの通信帯域幅を選択します。	20MHz、20MHz/40MHz	20MHz
MIMO	本端末に内蔵される複数のアンテナを組み合わせて使用し、通信速度や通信環境の改善ができます。 通信速度が遅く感じる場合や、通信が不安定な場合に「使用する」に設定すると、通信状態が改善される場合があります。	使用しない、使用する	使用する

2 「適用」をクリック

お知らせ

- Wi-Fi自動オフを「有効」に設定しているときは以下の動作になります。
  - ACアダプタで充電中／パソコンなどに接続して充電中はWi-Fi機能はオフになりません。
  - Wi-Fi機能がオフになると、モバイルネットワークと公衆無線LANの接続もオフになります。
  - Wi－Fi機能がオフになったときは、[⏻]を押したり、ACアダプタやパソコンなどに接続して充電を開始したりすると、Wi-Fi機能がオンになります。その後、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作をしてください。
- 以下の場合は確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をクリックしてください。
  - Wi-Fiモードを「5GHz」に設定したとき。
  - Wi-Fi 5GHz帯を使用中に、Wi-Fi自動オフを「有効」および「無効」に変更したとき。
  - Wi-Fi 5GHz帯を使用中に、Wi-Fi自動オフの時間設定を変更したとき。

  「OK」をクリックすると本端末のタッチパネルにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
  - 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
  - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。

  必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間※経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。

  ※DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
- ご利用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。本端末では、Wi-Fi 5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。

WPS設定

WPS PINコードを使用して、WPS認証をします。

1 WPS対応機器でWPS PINコードを表示

WPS PINコードの表示方法は各機器の取扱説明書などをご覧ください。

2 「WPS PIN」にWPS対応機器に表示されたWPS PINコードを入力し、「適用」をクリック

セットアップの完了まで2分程度かかることがあります。

お知らせ

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（認証方式）をWPA2-PSKまたはWPA/WPA2-PSKに設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.90
- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

MACアドレスフィルタ

Wi-Fi対応機器のMACアドレスを登録してWi-Fi接続の許可／禁止を設定することで、セキュリティ機能を強化できます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
MACアドレスフィルタ	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否	無効
MACアドレス	接続を許可、または禁止するWi-Fi対応機器のMACアドレスを10個まで設定できます。	00～FFの10組の番号	（なし）

2 「適用」をクリック

DHCP

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。

- 「IPアドレス」と「開始IPアドレス」、「終了IPアドレス」には、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- 「終了IPアドレス」には、「開始IPアドレス」より大きいIPアドレスを指定してください。
- これらの設定を変更すると、HW-01F設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、パソコンを再起動したあと、正しいIPアドレスを指定してHW-01F設定ツールを起動し直してください。
- 「IPアドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「LAN IPフィルタ」「ポートマッピング」「DMZ設定」の設定変更が必要になる場合があります。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本端末のプライベートIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.1※
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始IPアドレス	Wi-Fi対応機器に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.100
終了IPアドレス	Wi-Fi対応機器に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.200
DHCPリース時間（秒）	IPアドレスのリースタイムを設定します。	86400～604800	86400

※：本端末のプライベートIPアドレスが変更されていると、「docomo HW-01F Setting Tool」アイコンをダブルクリックしてもログイン画面が表示されません。その場合は、Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」と入力して、HW-01F設定ツールを起動してください。
本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認することができます。
→P.123

2 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

3 「OK」をクリック

設定内容が適用され、本端末が自動的に再起動します。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

ルータ設定

セキュリティに関する機能の設定を行うことができます。

1 設定画面で「ルータ設定」をクリック

「ルータ設定」のメニューが表示されます。

2 設定する機能をクリック

機　能	説　明	参照先
ファイアウォールスイッチ	ファイアウォール機能などを設定し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。	P.96
LAN IPフィルタ	フィルタを行うIPアドレスのリストを設定します。	P.97
ポートマッピング	インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるよう設定します。	P.99
特殊なアプリケーション	オンラインゲームやテレビ会議など、特殊なアプリケーションを利用できるように設定します。	P.101
DMZ設定	LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。	P.103
SIP ALG設定	SIPアプリケーションを使用したインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。	P.103
UPnP設定	UPnP対応のアプリケーションや周辺機器などを使用するときに設定します。	P.104
NAT設定	LAN内で利用しているプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換して、インターネット接続することができます。	P.104

ファイアウォール スイッチ

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。
ファイアウォールを有効にすると、インターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。

- ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。
- ファイアウォールを有効にすることで、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりする場合がありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
IPアドレス フィルタを有効にする	IPアドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
WANポートpingを無効にする	WAN側からのpingに対応するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2「適用」をクリック

LAN IPフィルタ

設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスから、ファイアウォールを通過させるか判断します。最大16件まで登録できます。

- この機能を利用するには、「ファイアウォール スイッチ」の「IPアドレス フィルタを有効にする」をオンに設定しておく必要があります。→P.96

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
LAN IP アドレス	ルールを適用するLAN側（送信側）端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号とワイルドカードとして[*]※	（なし）
LAN ポート	ルールを適用するLAN側（送信側）ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1～65535 範囲指定する場合は[-]で連結	（なし）
WAN IP アドレス	ルールを適用するWAN側（送信先）端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号とワイルドカードとして[*]※	（なし）
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信先）ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1～65535 範囲指定する場合は[-]で連結	（なし）
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※：「*」を任意の文字列として下記のように使うことができます。

1 *.*.*.*
2 10.*.*.*
3 10.10.*.*
4 10.10.10.*

LAN IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本端末をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN IPアドレスは「192.168.8.*」となります。DHCPのIPアドレスを「192.168.8.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- 「キャンセル」をタップすると、入力した内容を削除します。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

削除されます。

- 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるようにします。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセンジャーソフトなどを使用する場合に設定します。最大16件まで登録できます。

- この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCPにて割り当てられない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。→P.94
- セキュリティ対策などでポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合、通常はポート番号を変換する必要はありません。

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）	（なし）
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信元）ポート番号を設定します。	1～65535	（なし）
LAN IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	（なし）
LANポート	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート」と同じ値を設定します。	1～65535	（なし）
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- 「取消」をタップすると、入力した内容を削除します。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

削除されます。

- 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

特殊なアプリケーション

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションが利用できるようにします。最大16件まで登録できます。

- アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）	（なし）
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
起動ポート	制御データ用のポート番号を設定します。	1～65535	（なし）
起動プロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
オープン プロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
オープン ポート	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を設定できます。	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結※	（なし）

※：範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は200以下にしてください。

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- 「取消」をタップすると、入力した内容を削除します。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から､設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

削除されます。

- 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

DMZ設定

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

- DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保することをおすすめします。
- LAN側端末をIPアドレスで指定するため、DMZホストになる端末にはDHCPで割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。→P.94

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZ機能を設定するかどうかを選択します。	有効、無効	無効
DMZ IPアドレス	DMZホストのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.100

2 「適用」をクリック

SIP ALG設定

SIPアプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
SIP ALGを有効にする	SIP ALG機能を有効にするかどうかを選択します。	有効、無効	有効
SIPポート	SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。	1～65535	5060

2 「適用」をクリック

UPnP設定

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセンジャーソフトなどのUPnP対応アプリケーションを使用するときに設定します。

1 UPnP機能の有効／無効を選択する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
UPnPステータス	UPnP機能を使用するかどうかを選択します。	有効、無効	無効

2「適用」をクリック

NAT設定

Symmetric NAT、Cone NATを利用できます。ゲーム機器などでグローバルなIPアドレスを共有して利用するときに設定します。

1「Cone」／「Symmetric」を選択する

- 初期値は「Symmetric」です。

2「適用」をクリック

システム

HW-01F設定ツール全体の設定や操作を行います。

1 設定画面で「システム」をクリック

「システム」のメニューが表示されます。

2 設定する機能をクリック

機　能	説　明	参照先
デバイス情報	本端末に関する情報を表示します。	P.105
バックアップとリストア	HW-01F設定ツールの設定内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。	P.106
パスワードの変更	HW-01F設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。	P.106
リセット	設定内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。	P.107
USBテザリング	USBテザリング機能を使用するかどうかを選択します。	P.107
高速ブート	本端末の起動時間を短縮することができます。	P.108
ソフトウエア更新	一定間隔で新しいバージョンのソフトがないか確認するかどうかを設定します。	P.108
再起動	本端末を再起動できます。	P.108

■ デバイス情報

本端末に関する情報を表示します。

バックアップとリストア

HW-01F設定ツールの設定情報をパソコンに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。

- ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

■ バックアップする場合

1 「バックアップ」をクリック

2 画面の指示に従ってファイルを保存する

■ 復元する場合

1 「参照...」をクリックし、読み込むファイルを指定する

2 「リストア」をクリック

3 「OK」をクリック

設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

パスワードの変更

HW-01F設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。

- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

1 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」を入力

パスワードは最大15文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「"」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）で設定します。

- 「パスワードの確認」には確認のために、新しいパスワードを再入力してください。

2 「適用」をクリック

パスワードが変更されます。

リセット

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 本端末をお買い上げ時の設定に戻すと、ご購入後に設定した内容はすべて削除されます。十分にご注意ください。また万が一のトラブルに備えるため、設定した内容を保存しておくこともできます。「バックアップとリストア」をご覧ください。→P.106
- お買い上げ時の設定に戻しても、ドコモminiUIMカードに登録されたPIN1コードなどの登録内容はお買い上げ時の状態には戻りません。
- 以下の設定はリセットを実行してもお買い上げ時の状態には戻りません。
  - 最大データ通信量
  - 通知設定

1「リセット」をクリック

確認画面が表示されます。

2「OK」をクリック

設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

お知らせ

- RESETボタン（→P.18）を5秒以上押し続けても、お買い上げ時の設定に戻ります。「リセット」の実行時と同様に、設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

USBテザリング

USBテザリング機能を使用するかどうかを選択します。USBテザリング機能を使用すると、パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。

- 初期値は「オン」です。

1「オン」／「オフ」を選択

2「適用」をクリック

3「OK」をクリック

高速ブート

本端末の起動時間を短縮するかどうかを設定します。

- 初期値は「オン」です。

1 「オン」／「オフ」を選択

2 「適用」をクリック

お知らせ

- 以下の場合は、高速起動をオンにしていても通常起動となります。
  - 電池パックの電圧が規定電圧より低いとき
  - 本端末が高温になり電源がオフになったあと最初に起動するとき
  - ドコモminiUIMカードが以下の状態のとき
    - ドコモminiUIMカードが無効
    - 取り付けられていない
    - 抜き差しをした
    - PIN1コード認証が有効の状態で、PIN1コードが未入力のとき
  - 電池パックを本端末から外して再度取り付けたとき
  - 高速ブートで11回目以降に本端末を起動したとき
  - 電源を入れてから、5分以内に再度電源を入れなおしたとき

ソフトウエア更新

一定間隔で新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認するかどうかを設定します。

- 初期値は「オン」です。

1 「オン」／「オフ」を選択

2 「適用」をクリック

再起動

本端末を再起動します。

1 「再起動」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

本端末が自動的に再起動します。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

データ通信量を確認する

事前に、パソコンでHW-01F設定ツール画面を起動しておきます。→P.72

- 海外でのご使用時、データ通信量はカウントされません。
- 公衆無線LANに接続している時は、データ通信量はカウントされません。
- ドコモminiUIMカードを、別のドコモminiUIMカードに差し替えた場合、データ通信量はクリアされます。
- 毎月1日の0時に、データ通信量はクリアされます。

1 メニューリストの「通信利用状況」をクリック

「データ通信量」、「接続済Wi-Fiクライアント」についての情報が表示されます。

項　目	表示内容	説　明
データ通信量	データ通信量（From XXXX/X/X）	XXXX/X/Xに表示されている年月日からの、データ通信量の目安を表示します。正確なデータ通信量を確認するには、My docomoページ、もしくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。
接続済Wi-Fiクライアント	ID	接続順に番号（0～9）が表示されます。
	IPアドレス	Wi-Fi機器で使用されているIPアドレスを表示します。
	ホスト名	Wi-Fi機器に付けられている名前を表示します。名前が無い場合には空欄となります。
	MACアドレス	Wi-Fi機器のMACアドレスを表示します。
	接続時間	Wi-Fi機器が接続されてからの経過時間を表示します。

■ データ通信量の情報をリセットするには

「リセット」をクリックすると、データ通信量がリセットされます。

お知らせ

- 表示されるデータ通信量は概算となります。正確なデータ通信量を確認したい場合は、My docomoページ、もしくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。

ソフトウェアの更新をする

設定ツール画面から、ソフトウェアの更新をします。

- 手順については「HW-01F設定ツールからソフトウェア更新をする」（→P.149）をご覧ください。

各種設定（本体メニュー）

本端末の本体メニューについて 112
各種機能の詳細設定をする..113

本端末の本体メニューについて

本端末は、タッチパネルを操作してメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末では一部の機能を設定することができません。HW-01F設定ツールを利用するとすべての機能を設定することができます。→P.69
- 本端末でタッチパネルを表示中はHW-01F設定ツールで設定できません。また、HW-01F設定ツールで設定中に本端末のタッチパネルを操作すると、HW-01F設定ツールでの設定が中断される場合があります。

メニュー操作はホーム画面から行います。

ホーム画面

■ 画面がロックされている場合

タッチパネルをフリックしてロックを解除してください。

- パスコードが設定されているときは、パスコードを入力します。

■ 前の画面に戻る場合

- 画面左上の をタップします。

各種機能の詳細設定をする

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能に関する設定ができます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「Wi-Fi設定」をタップ

■Wi-Fi自動オン／オフを設定する場合

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で、Wi-Fi接続を自動的にオフするかどうかを設定します。

1「Wi-Fi自動オフ」のをタップ

- をタップすると、Wi-Fi自動オフを「オフ」にできます。

2「Wi-Fiオフ時間」をタップ

3 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
Wi-Fiオフ時間※	Wi-Fi自動オフが「」の場合に自動オフするまでの時間を設定します。	10分、20分、30分	10分

※：　Wi-Fi自動オフを「オン」に設定したときのみ表示されます。

4「OK」をタップ

お知らせ

- 以下の条件のとき、Wi-Fiが自動的にオフになります。
  - 他の機器がWi-Fi接続されていないこと
  - 充電中でないこと
  - 画面が消灯していること

■Wi-Fiモードを設定する場合

使用する周波数帯を設定します。

1「Wi-Fiモード」をタップ

2 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
Wi-Fiモード	使用する周波数帯を設定します。	2.4GHz、5GHz	2.4GHz

3「OK」をタップ

- 「2.4GHz」を選択した場合は、操作は終了です。
- 「5GHz」を選択した場合は、手順4に進んでください。

4 メッセージを確認して「OK」をタップ

- DFSチェックが開始され、電波干渉がないことを確認後にネットワークに接続されます。
- メッセージ画面で「キャンセル」をタップすると、設定を中止してWi-Fiモード設定画面に戻ります。

お知らせ

- Wi-Fi 5GHz帯を使用するときは、気象レーダーなどとの電波干渉を避けるため、以下の条件でDFSチェックを行います。
  - Wi-Fiモードを「5GHz」に設定したとき。
  - Wi-Fi 5GHzを使用中にWi-Fi自動オフの設定を「オン」または「オフ」に変更したとき。
  - Wi-Fi自動オフの時間設定を変更したとき。
  - Wi-Fi自動オフ機能が作動してWi-Fi接続がオフになった後、再度オンになったとき。
  - Wi-Fi接続が切断された状態から再接続したとき。
- DFSチェックには約1分間かかります。DFSチェックを実行中は一時的にネットワークが切断され、電波干渉が起きないことが確認された後、自動的に再接続されます。本端末に接続しているWi-Fi対応機器との接続も切断されますので、ネットワークに再接続された後、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作を行ってください。
- DFSチェックが開始されると、本端末のタッチパネルにメッセージが表示されます。メッセージ下部には以下のボタンが表示されます。
  - 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
  - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。

  必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間※経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。

  ※DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
- ご利用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。本端末では、Wi-Fi 5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。

WPS

WPS機能のプッシュボタン方式を利用して、Wi-Fi対応機器を本端末に接続できます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「WPS」をタップ

2 「WPS」をタップ

120秒以内にWi-Fi対応機器側でWPS接続の操作をしてください。

公衆無線LAN設定

公衆無線LAN機能の設定をします。

1 ホーム画面で「メニュー」→「公衆無線LAN設定」をタップ

2「公衆無線LAN設定」の をタップ

- 接続履歴のあるアクセスポイントが通信可能範囲に見つかった場合は、そのアクセスポイントに自動的に接続します。

3「利用可能なネットワーク」をタップ

自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なアクセスポイント名が一覧で表示されます。

■オープンなアクセスポイントに接続する場合

1 接続するアクセスポイントをタップ

- アクセスポイントをタップすると自動的に接続されます。

■セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

1 接続するアクセスポイントをタップ

2 パスワードを入力

3「OK」をタップ

■アクセスポイントに手動設定で接続する場合

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

1 ＋をタップ

2 SSIDを入力

3「OK」をタップ

4 セキュリティ方法を選択

セキュリティ方法は「オープン」「WEP」「WPA-PSK」「WPA2-PSK」「WPA/WPA2-PSK」「EAP-SIM」「EAP-AKA」から選択できます。

5「OK」をタップ

6 パスワードを入力

手順4でセキュリティ方法に「オープン」を選択した場合は、パスワードの入力は不要です。

7「OK」をタップ

APN設定

接続先APNの設定が複数ある場合、接続先APNを変更できます。

- 接続先APNを新規に追加する場合、および編集する場合は、HW-01F設定ツール画面から設定してください。→P.81

1 ホーム画面で「メニュー」→「APN設定」をタップ

2 アクセスポイントを選択

3 「OK」をタップ

USBテザリング

USBテザリング機能を使用するかどうかを選択します。USBテザリング機能を使用すると、パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「USBテザリング」をタップ

2 以下の項目を設定する

設定項目	説　明	設定範囲	初期値
USBテザリング	USB接続ケーブルでPCと接続したとき、USBテザリングを利用するかどうかを選択します。	充電のみ、充電とUSBテザリング利用	充電とUSBテザリング利用

3 「OK」をタップ

接続中ユーザー

Wi-Fi接続中のユーザーの確認やブロックの設定／解除ができます。
USB接続ケーブルで接続中のユーザーは表示されません。

1 ホーム画面で「メニュー」→「接続中ユーザー」をタップ

接続中ユーザーが表示されます。

■ ブロックリストにユーザーを追加する場合

1 ブロックしたいユーザーの右側にある×をタップ

2 「OK」をタップ

■ ブロックリストからユーザーを削除する場合

1 をタップ

2 ブロックリストから削除するユーザーの×をタップ

3 「OK」をタップ

詳細設定

本端末のさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「詳細設定」をタップ

詳細設定画面が表示されます。

ディスプレイ画面設定

本端末のタッチパネルの明るさや、スリープの設定ができます。

1 詳細設定画面で「ディスプレイ画面設定」をタップ

2 以下の項目を設定する

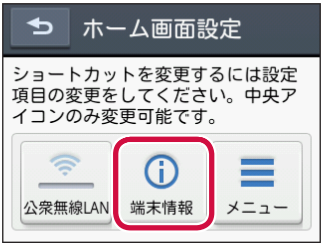
設定項目	説　明	設定範囲	初期値
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	最小～最大（スライダーの可動範囲）	最大
スリープ	スリープまでの時間を設定します。	スリープしない、15秒、30秒、60秒、120秒	30秒

ホーム画面設定

ホーム画面の中央に表示する機能を変更することができます。

1 詳細設定画面で「ホーム画面設定」をタップ

2 中央のアイコンをタップ



3 機能を選択

4 「OK」をタップ

パスコード設定

画面ロックを解除するときに、あらかじめ設定したロック番号の入力を行わないと本端末を使用できないように設定します。

- 画面ロックから30秒以上経過すると、パスコード入力画面が表示されます。

1 詳細設定画面で「パスコード設定」をタップ

■パスコードをオン／オフする場合

1 「パスコード設定」の／をタップ

2 4桁の数字を順番にタップ

- をタップすると入力した数字を削除できます。

3 確認のため4桁の数字を再入力

- オフにする場合は、数字の再入力は不要です。

■パスコードを変更する場合

1 パスコード設定画面で「変更」をタップ

2 現在のパスコードを入力→新しいパスコードを入力→確認のため、新しいパスコードを再入力

ネットワーク設定

接続できるネットワークの優先度と検索する方法を設定します。

- 優先モードを変更した場合や、ネットワークの検索中は、ネットワークから切断される（圏外になる）ことがあります。設定を変更する際には、ご注意ください。

1 詳細設定画面で「ネットワーク設定」をタップ

■優先モードを設定する場合

1 「優先モード」→「LTE/3G/GSM（自動）」／「LTE/3G」／「GSM」をタップ

2 「OK」をタップ

■検索モードを自動／手動に設定する場合

1 「検索モード」→「自動」／「手動」をタップ

2 「OK」をタップ

- 「手動」を選択した場合には、利用可能なネットワークが表示されます。利用したいネットワークを選択し、「OK」をタップします。

PIN1コード管理

PIN1コード認証の有効／無効の設定ができます。

1 詳細設定画面で「PIN1コード管理」をタップ

2 「PIN1コード認証」の／をタップ

3 数字をタップしてPINコードを入力

- をタップすると入力した数字を削除できます。

4 「OK」をタップ

お知らせ

- PIN1コードの変更はHW-01F設定ツールの「モバイルネットワーク」から行います。
→P.85
- PIN1コード認証を有効に設定すると、本端末の電源を入れたときにPIN1コード認証画面が表示されます。「PIN1コードの入力」をタップし、正しいPIN1コードを入力して「OK」をタップしてください。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。PIN1コードがロックされている状態で本端末の電源を入れると、PINロック解除コード（PUK）の認証画面が表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力し、「OK」をタップしてください。

言語

本端末の表示言語を切り替えることができます。

1 詳細設定画面で「言語」をタップ

2 「English」／「日本語」をタップ

3 「OK」をタップ

時間設定

本端末の時間表示とタイムゾーンを設定することができます。

1 詳細設定画面で「時間設定」をタップ

■24時間表示をオン／オフする場合

1 「24時間表示」の／をタップ

■タイムゾーンを設定する場合

1 「タイムゾーン」→タイムゾーンを選択

2 「OK」をタップ

■サマータイム表示をオン／オフする場合

サマータイムを採用しているタイムゾーンを選択すると、サマータイム表示のオン／オフを設定できます。

1 「 サマータイム」の ／ をタップ

お知らせ

- 国際ローミング中や圏外のときは、時間を正確に取得できない場合があります。

SSID＆パスワード設定

SSID1とSSID2の名前とパスワードを設定できます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「SSID＆パスワード設定」をタップ

2 変更する名前またはパスワードをタップ

SSID2の名前を変更するには、HW-01F設定ツールの設定画面から「Wi-Fi設定」を選択し、SSID2を「オン」にしてください。

3 「OK」をタップ

データ通信量

データ通信量を確認することができます。

1 **ホーム画面で「メニュー」→「データ通信量」をタップ**

データ通信量画面が表示されます。

リセット

1 **データ通信量画面で「リセット」をタップ**

2 **「OK」をタップ**

データ通信量画面には前回のリセット日時が表示されます。

設定

1 **データ通信量画面で「設定」をタップ**

■ホーム画面にデータ通信量を表示／非表示に設定する場合

1 **「ホーム画面にデータ通信量を表示」の　／　をタップ**

■最大データ通信量を設定する場合

1 **「最大データ通信量」の最大データ通信量表示をタップ**

2 **数字キーをタップして最大データ通信量を入力**

- 　をタップすると入力した数字を削除できます。

3 **「OK」をタップ**

■設定値になったときに通知するかどうかを設定する場合

1 **「設定値になったときに通知する」の　／　をタップ**

2 **　を左右にドラッグして通知するデータ通信量を調節**

QRコード表示

本端末でQRコードを表示して、「HUAWEI Mobile WiFi 2」アプリを使ってAndroid搭載端末で読み取ると、自動的に機器同士を接続できます。

- 手順については「本端末のQRコード表示機能を使ってAndroid搭載機器を接続する」（→P. 47）をご覧ください。

ソフトウェア更新

本体でソフトウェア更新をします。

- 手順については「本体でソフトウェア更新をする」（→P. 150）をご覧ください。

本端末の情報を確認する

本端末の情報を確認することができます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「端末情報」をタップ

端末情報画面が表示されます。

SSID&パスワード

SSID1とSSID2の名前とパスワードが表示されます。

1 端末情報画面で「SSID&パスワード」をタップ

端末情報

本端末に関する情報を表示します。

1 端末情報画面で「端末情報」をタップ

Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意

Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意を表示します。

1 端末情報画面で「Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意」をタップ

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、ホーム画面で「端末情報」をタップしても本端末の情報を確認することができます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要 126
海外で利用できるサービス 126
ご利用時の確認 127
海外で利用するための設定 129

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している本端末をドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。

- 対応エリアについて
  本端末はクラス4になります。3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』
- 海外ではXiエリア外のため3GネットワークまたはGSM／GPRSネットワークをご利用ください。
- GSM／GPRSネットワークをご利用中はアイコンが表示されます（→P.28）。

海外で利用できるサービス

通信サービス	説明
データ通信	パケット通信によるデータ通信が利用できます。

- 接続可能な国･地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外で本端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。

■ 滞在先の国、地域の電源、電圧について

- 使用する国、地域によって電源電圧や、コンセントの形状が異なります。事前に、利用するパソコンの取扱説明書やパソコンメーカのホームページなどで、利用方法を確認してください。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

- 自動的に接続されるので、ご使用にならないときは電源を切っておくことをおすすめします。
- 利用可能な通信事業者を手動で選択する場合は、滞在国に到着後、HW-01F設定ツールの「ネットワーク設定」から設定を変更します（→P.87）。

■ 接続について

- 接続されたネットワークの種類が画面上部に表示されます（→P.28）。
- 定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ タッチパネルの表示について

- 画面の上部にはローミング中のアイコンが表示されます。

- 電池残量および電波の受信レベルが十分であることを確認してください（→P.28）。

■ 日付と時刻について

「タイムゾーン」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている『国際電話アクセス番号』または『ユニバーサルナンバー用国際識別番号』が必要です。

お知らせ

- Wi-Fiを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、必要に応じて無線LANの設定を変更してからご利用ください（→P.91）。
- 海外でご利用中はホーム画面のデータ通信量／最大データ通信量は表示されません。また、パケット通信のカウントも行われません。

帰国後の設定について

「ネットワーク設定」（→P.87）の「検索モード」を「自動」に設定している場合、日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、3G／LTEネットワークに接続されます。「手動」に設定している場合は、「自動」に設定し直すと3G／LTEネットワークに接続されます。

「優先モード」が「GSM」の場合は、自動的に3G/LTEネットワークに接続されないため、「自動」に変更ください。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

■ ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で「メニュー」→「詳細設定」→「ネットワーク設定」→「優先モード」

2 「LTE/3G/GSM（自動)」／「LTE/3G」／「GSM」を選択して「OK」をタップ

■ 通信事業者の設定

1 ホーム画面で「メニュー」→「詳細設定」→「ネットワーク設定」→「検索モード」
利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 通信事業者のネットワークを選択して「OK」をタップ

付録／索引

メニュー一覧 132
オプション・関連機器のご紹介 138
故障かな？と思ったら 139
保証とアフターサービス 146
ソフトウェア更新 148
主な仕様 151
Operating Environment 154
Certification Information (SAR) 154
FCC Statement 155
Disposal and Recycling Information 155
Reduction of Hazardous Substances 156
EU Regulatory Conformance 156
輸出管理規制 156
知的財産権 157
GPL書面によるオファーについて 158
SIMロック解除 158
索引 159

メニュー一覧

メニュー一覧（Webブラウザ）

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存	
			電源オフ	バックアップ／リストア
ホーム				
URL	－	192.168.8.1	○	○
言語	English、日本語	日本語	○	○
接続設定	－	http://hw-01f.home/	○	－
ログイン				
パスワード	半角15文字まで	admin	○	○
設定				
プロバイダ設定				
プロファイル名	半角32文字まで	mopera U	○	○
APN名	半角32文字まで	mopera.net	○	○
ユーザ名	半角32文字まで	－	○	○
パスワード	半角32文字まで	－	○	○
認証方式	自動、PAP、CHAP	自動	○	○
IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4	○	○
公衆無線LAN				
設定	オン、オフ	オフ	○	○
優先度	－	－	－	－
モバイルネットワーク				
PIN1コード管理				
PIN1コード認証の設定	有効、無効、変更	－	－	－
ネットワーク設定				
優先モード	LTE/3G/GSM（自動）、LTE/3G、GSM	LTE/3G/GSM（自動）	○	－
検索モード	自動、手動	自動	○	－
データ通信量表示	オン、オフ	オン	○	－
最大データ通信量				
HW-01Fのホーム画面に表示する最大データ通信量（GB）	1～99	0	○	－

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存 電源オフ	設定値の保存 バックアップ／リストア
通知設定				
データ通信量が設定値になったときに通知する	有効、無効	有効	○	－
通知するデータ通信量	1%～100%	90%	○	－
Wi-Fi設定				
基本設定				
名前（SSID）	半角32文字まで	－	○	○
セキュリティ	自動、Open、Share、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK	○	○
暗号化方式	AES、TKIP、AET+TKIP、WEP	AES	○	○
パスワード	半角64文字まで	－	○	○
ネットワークキー1～4※	－	－	○	○
現在のネットワークキー※	ネットワークキー1～4	ネットワークキー1	○	○
APアイソレーション	オン、オフ	オフ	○	○
SSIDブロードキャスト	有効、無効	有効	○	○
パスワードの表示	オン、オフ	オフ	－	－
詳細設定				
利用国判別	有効、無効	有効	○	○
国	国を選択	日本	○	○
Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	○
チャンネル	2.4GHz：自動、1～13 5GHz：自動、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140	自動	○	○
Wi-Fi自動オフ	有効、無効	有効	○	○
Wi-Fiオフ時間（分）	10、20、30	10	○	○
Wi-Fi帯域幅	20MHz、20MHz/40MHz	20MHz	○	○
MIMO	使用する、使用しない	使用する	○	○

メニュー項目／設定項目				設定範囲	初期値	設定値の保存	
						電源オフ	バックアップ／リストア
		WPS設定		－	－	○	○
		MACアドレスフィルタ					
			MACアドレスフィルタ	無効、許可、拒否	無効	○	○
			MACアドレス	00～FFの10組の番号	－	○	○
		DHCP					
			IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.1	○	○
			サブネットマスク	0～255の4組の番号	255.255.255.0	○	○
			DHCPサーバ	有効、無効	有効	○	○
			開始IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.100	○	○
			終了IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.200	○	○
			DHCPリース時間（秒）	86400～604800	86400	○	○
	ルータ設定						
		ファイアウォールスイッチ					
			ファイアウォールを有効にする	オン、オフ	オン	○	○
			IPアドレスフィルタを有効にする	オン、オフ	オフ	○	○
			WANポートpingを無効にする	オン、オフ	オン	○	○
		LAN IPフィルタ					
			LAN IPアドレス	0～255の4組の番号	－	○	○
			LANポート	1～65535	－	○	○
			WAN IPアドレス	0～255の4組の番号	－	○	○
			WANポート	1～65535	－	○	○
			プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP	○	○
			ステータス	オン、オフ	オフ	○	○
		ポートマッピング					
			名前	半角30文字まで	－	○	○
			WANポート	1～65535	－	○	○
			LAN IPアドレス	0～255の4組の番号	－	○	○
			LANポート	1～65535	－	○	○
			プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP	○	○
			ステータス	オン、オフ	オフ	○	○

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存	
			電源オフ	バックアップ／リストア
特殊なアプリケーション				
名前	半角30文字まで	－	○	○
ステータス	オン、オフ	オフ	○	○
起動ポート	1～65535	－	○	○
起動プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP	○	○
オープンプロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP	○	○
オープンポート	1～65535	－	○	○
DMZ設定				
DMZステータス	有効、無効	無効	○	○
DMZ IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.100	○	○
SIP ALG設定				
SIP ALGを有効にする	有効、無効	有効	○	○
SIPポート	1～65535	5060	○	○
UpnP設定				
UPnPステータス	有効、無効	無効	○	○
NAT設定	Cone、Symmetric	Symmetric	○	○
システム				
デバイス情報	－	－	－	－
バックアップとリストア	－	－	－	－
パスワードの変更	－	－	○	○
リセット	－	－	－	－
USBテザリング	オン、オフ	オン	○	－
高速ブート	オン、オフ	オン	○	○
ソフトウェア更新	オン、オフ	オン	○	－
再起動	－	－	－	－
通信利用状況				
データ通信量	－	－	○	－
接続済Wi-Fiクライアント	－	－	－	－
ソフトウェア更新				

※「セキュリティ」に「自動」、「Open」、「Share」のいずれかを、「暗号化方式」に「WEP」を選択したときのみ表示されます。

メニュー一覧（本体メニュー）

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存	
			電源オフ	バックアップ／リストア
メニュー				
Wi-Fi設定				
Wi-Fi自動オフ	オン、オフ	オン	○	○
Wi-Fiオフ時間	10分、20分、30分	10分	○	○
Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	○
WPS	－	－	－	－
公衆無線LAN設定	オン、オフ	オフ	○	○
APN設定	－	mopera U	○	○
USBテザリング	充電のみ、充電とUSBテザリング利用	充電とUSBテザリング利用	○	－
接続中ユーザー				
ブロックリスト	－	－	○	○
詳細設定				
ディスプレイ画面設定				
画面の明るさ	最小～最大（スライダーの可動範囲）	最大	○	－
スリープ	スリープしない、15 秒、30 秒、60 秒、120 秒	30 秒	○	－
ホーム画面設定	端末情報、WPS、SSID＆パスワード設定、Wi-Fi設定、接続中ユーザー、QRコード表示、ディスプレイ画面設定、APN設定、公衆無線LAN設定、ネットワーク設定、データ通信量	端末情報	○	－
パスコード設定	オン、オフ	オフ	○	－
ネットワーク設定				
優先モード	LTE/3G/GSM（自動）、LTE/3G、GSM	LTE/3G/GSM（自動）	○	－
検索モード	自動、手動	自動	○	－
PIN1コード管理	オン、オフ	－	○	－
言語	English、日本語	日本語	○	－

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存	
			電源オフ	バックアップ／リストア
時間設定				
24時間表示	オン、オフ	オン	○	－
タイムゾーン	自動、各国のタイムゾーン	自動	○	－
サマータイム※	オン、オフ	オフ	○	－
SSID＆パスワード設定	－	－	○	－
データ通信量				
リセット	－	－	－	－
設定				
ホーム画面にデータ通信量を表示	オン、オフ	オン	○	－
最大データ通信量	1～99	－	○	－
設定値になったときに通知する	オン、オフ	オン	○	－
通知するデータ通信量	1%～100%	90%	○	－
QRコード表示	－	－	－	－
ソフトウェア更新				
更新の自動確認	オン、オフ	オン	○	－
最新ソフトウェア確認	－	－	－	－
端末情報				
SSID＆パスワード	－	－	－	－
端末情報	－	－	－	－
Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意	－	－	－	－

※ サマータイムを採用しているタイムゾーンを選択すると、表示されます。

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー HW07
- 電池パック HW04
- AC アダプタ HW01／02／03
- USB 接続ケーブル HW01／02
- AC アダプタ 03／04
- DC アダプタ 03
- ポケットチャージャー 01／02
- 海外用AC 変換プラグCタイプ 01
- microUSB 接続ケーブル 01
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- FOMA ACアダプタ 02※1
- FOMA DCアダプタ 02※1
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2

※1　本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。
※2　本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01またはUSB接続ケーブル HW01／02、microUSB接続ケーブル 01が必要です。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（→P.148）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源、充電に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
本端末の電源が入らない	電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.22
	電池切れになっていませんか。	P.28、P.25、P.26
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末の電源を強制的に切ることができます。 **■強制終了方法** [⏻]を約10秒程度押し続けます。 ※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。	―
充電ができない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • 付属のACアダプタ HW03をご使用の場合、ACアダプタのUSBコネクタとUSB接続ケーブルがしっかりと接続されていますか。 • USB接続ケーブルを使用してパソコンから充電を行う場合は、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が中断される場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.22、P.25、P.26

■ 端末操作に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。	ー
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.24
電源断・再起動が起きる	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	ー

■ 本端末が認識されない

症状	チェック項目	参照ページ
USB接続ケーブルで接続したパソコンが本端末を認識しない	本端末が、USB接続ケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。	P.55
	USB接続ケーブルをパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。	ー
	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	ー
	本端末がパソコンに正しく取り付けられていることを確認してください。	P.59、P.67

■ ドコモminiUIMカードに関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
ドコモminiUIMカードが認識しない	ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていますか。	P.19
	ドコモminiUIMカードが変形していないことを確認してください。	―
	ドコモminiUIMカードのICに傷や腐食がないことを確認してください。	―
	ドコモminiUIMカード（特にIC）が汚れていると認識できない場合があります。柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。	―
ドコモminiUIMカードがロックされた	ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	―

■ 接続、通信に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
Wi-Fi対応機器を接続できない	本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がオンになっていることを確認してください。	―
	正しいセキュリティキーを入力しているか、確認してください。セキュリティキーは付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。また、暗号化方式にWPAまたはWPA2を設定している場合は、お使いのWi-Fi対応機器がWPA/WPA2の暗号化方式に対応しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。	P.35、P.123
インターネットに接続できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。 また、時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。	―
	HW-01F設定ツールを起動し、モバイルネットワークやネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。	P.85、P.87

症状	チェック項目	参照ページ
HW-01F設定ツールを起動できない	ご家庭のLAN内に設置されたルータなどと本端末のプライベートIPアドレスが同じ値になっている可能性があります。本端末のプライベートIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認することができます。 ルータなどの電源を切った状態で本端末の電源を入れると、HW-01F設定ツールにログインできます。 また、ご使用のルータなどと本端末を同時に使用したい場合は、本端末のプライベートIPアドレスを手動で変更してください。変更後はブラウザのアドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」と入力することで、HW-01F設定ツールを起動できます。	P.18、P.94
	マルチSSIDをオンにして、SSID 2に接続していませんか。SSID 2に接続している時は、HW-01F設定ツールを起動できません。 SSID 1に接続し直してください。	P.90
通信がすぐに切れる	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。	ー
	本端末とパソコンなどが、Wi-FiまたはUSB接続ケーブルによって接続されている場合、以下の手順を実行してください。それでも改善されない場合は、USB接続ケーブルを取り外してパソコンなどを再起動し、もう一度接続してください。 • 本端末とパソコンなどをWi-Fiで接続している場合は、本端末の電源を入れ直してください。 • 本端末とパソコンなどをUSB接続ケーブルで接続している場合は、本端末をパソコンなどから取り外してもう一度接続してください。	ー
通信速度が遅く感じる	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。	ー
	回線の状態が良くない場合があります。時間をおいて再度試してください。	ー
本端末をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない	システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかることがあります。 一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、手動でインストーラーを起動してください。	P.61

■ 海外利用に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
海外で通信できない（アンテナマークが表示されている場合）	WORLD WING のお申し込みをされていますか。 WORLD WING のお申し込み状況をご確認ください。	P.126
海外で通信できない（圏外が表示されている場合）	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。	P.87
海外で利用中に、突然通信できなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	－

■ その他

症状	チェック項目	参照ページ
管理者権限（Administrator）でログインしているのか分からない	**■Windows 8.1／8をお使いの場合** ①デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで（設定）をクリックします。 ②「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」画面を表示します。 ③「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」→「ユーザーアカウント」の順にクリックします。 ④画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップすることができます。 **■Windows 7およびWindows Vistaをお使いの場合** ①「スタート」→「コントロール パネル」をクリックして、「コントロール パネル」画面を表示します。 ②「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザー アカウント」をクリックします。 ③画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップすることができます。 **■Windows XPの場合** ①「スタート」をクリックして、「スタート」メニューを表示します。 ②「スタート」メニューの一番上に表示されているのが現在ログインしているユーザー名です。 ※「スタート」メニューの表示が、クラシック「スタート」メニューになっている場合は表示されません。「スタート」メニューを右クリックし、プロパティを表示して「スタート」メニューをチェックしてください。 ③「スタート」→「コントロール パネル」をクリックして、「コントロール パネル」画面を表示します。 ④「ユーザー アカウント」をクリックします。 ⑤表示された画面の「ユーザー名」から、②で調べたユーザー名を確認します。 ユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されていれば、管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップすることができます。	—

エラーメッセージ

メッセージ	チェック項目	参照ページ
SIM未挿入または無効なSIM	ドコモminiUIMカードが取り付けられていません。ドコモminiUIMカードを取り付けてください。	P.19
PIN1コードを入力してください。	PIN1コード認証が有効になっており、PIN1コードの入力待ち状態です。HW-01F設定ツールまたは本体のタッチパネルからPIN1コードを入力してください。	P.86
PIN1コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	PIN1コードがロックされているときに表示されます。HW-01F設定ツールまたは本体のタッチパネルからPINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力してください。	P.86
PIN完全ロック状態です	PIN ロック解除コードの入力に10 回失敗したため、ドコモminiUIMカードがロックされました。ドコモショップの窓口にお問い合わせください。	P.21
SIMカードが無効です	無効なドコモminiUIMカードが取り付けられています。SIMカードの種類をご確認ください。	―
高温になっています。ネットワークを切断します。	本端末が高温になったときに表示され、ネットワークから切断されます（「圏外」となります）。本端末の温度が下がるまでお待ちください。	―
高温になっています。電源をオフにします。	充電中またはパソコンとUSB接続ケーブルで接続中などに本端末が高温になっています。エラーメッセージの表示から数秒後、本端末の電源が自動的に切れます。USB接続ケーブルを取り外し、本端末の温度が下がるまでお待ちください。	―
電池でエラーが発生したか、電池が見つかりません。電池が正しく取り付けられていることを確認してください。	USB接続ケーブルでの充電時に、電池パックに問題が発生している状態です。電池パックが正しく取り付けられているかご確認ください。正しく取り付けた状態でも表示されてしまう場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.22

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（タッチパネル・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露･汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損･変形していた場合（外部接続端子・タッチパネルなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - タッチパネル部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：タッチパネル上部
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

HW-01Fのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗する場合があります。
- HW-01Fのソフトウェア更新が必要かを、14日おきにネットワークに接続して確認します。更新可能なソフトウェアがある場合は、本端末の液晶画面にメッセージが表示されます。
  ※ HW-01F設定ツール、または本端末でソフトウェアの更新がないかを、すぐに確認することもできます。→P.149、P.150
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時はACアダプタを接続する事をおすすめします。電池残量不足によりソフトウェア更新に失敗すると、製品が正常に使用できなくなる恐れがあります。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ドコモminiUIMカードが未挿入のとき
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※

  ※ Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- 次の場合はソフトウェアの更新に失敗することがあります。
  - 日付と時刻が正しく設定されていないとき
  - 電池残量が少ないとき
- ソフトウェアの更新を行う際には、パケット通信(課金対象)が発生します。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外のときは、更新ができない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のHW-01F固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、本端末が起動しなくなることや、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

HW-01F設定ツールからソフトウェア更新をする

HW-01F設定ツールからソフトウェアの更新があるか確認できます。また、更新がある場合には、パソコンからソフトウェアの更新を行うこともできます。

- 事前に、パソコンでHW-01F設定ツール画面を起動しておきます。→P.72

1 メニューリストの「ソフトウェア更新」をクリック

ソフトウェアの更新がある場合には、更新がある旨のメッセージとバージョン、サイズなどが表示されます。

2 「今すぐ更新」をクリック

ソフトウェア更新用のパッケージのダウンロードが始まり、ダウンロードの状況が表示されます。ダウンロードが成功すると、ソフトウェア更新が開始され、ソフトウェア更新状況が表示されます。

- ソフトウェア更新用パッケージのダウンロードに失敗した場合には、ダウンロードに失敗した旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新に成功すると「システムは最新です。」のメッセージが表示され、本端末が再起動されます。

本体でソフトウェア更新をする

1 ホーム画面で「メニュー」→「ソフトウェア更新」をタップ

■ソフトウェア更新を自動確認するかどうかを設定する場合

1「更新の自動確認」の ／ をタップ

■すぐにソフトウェア更新をする場合

1 ソフトウェア更新画面で「最新ソフトウェア確認」をタップ

最新のソフトウェアがあるか確認します。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「現在のバージョンは最新です。」と表示されます。

2「ソフトウェア更新」をタップ

ソフトウェア更新用のパッケージのダウンロードが始まり、ダウンロードの状況が表示されます。ダウンロードが成功すると、本端末が自動的に再起動し、ソフトウェア更新を続行します。

- ダウンロードをキャンセルして本端末を利用するには「キャンセル」をタップします。
- ソフトウェア更新が成功すると、本端末が再度、再起動されます。

主な仕様

■ 本体

品名		HW-01F
サイズ（H×W×D）		約57mm×約90mm×約13.5mm（最厚部約13.5mm）
質量		約98g（電池パックを含む）
連続通信時間	LTE	約7時間
	3G（W-CDMA／HSDPA／HSUPA）	約6時間
	GSM	約5時間
連続待受時間	LTE	約380時間
	3G（W-CDMA／HSDPA／HSUPA）	約420時間
	GSM	約400時間
充電時間	ACアダプタ HW03	電源オフ時：約158分
	ACアダプタ 03	電源オフ時：約169分
	ACアダプタ 04	電源オフ時：約149分
	USB接続ケーブル HW02	電源オフ時：約300分
	DCアダプタ 03	電源オフ時：約217分
タッチパネル		種類：TN 解像度：縦240ドット×横320ドット（QVGA） 約2.4inch
通信方式		WAN：LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPA/GPRS 無線LAN：IEEE802.11a/n（5GHz帯）、b/g/n（2.4GHz帯）
通信速度※1	無線LAN	IEEE802.11a：54Mbps（5GHz帯） IEEE802.11b：11Mbps（2.4GHz帯） IEEE802.11g：54Mbps（2.4GHz帯） IEEE802.11n：300Mbps（5GHz帯、2.4GHz帯）
	LTE	パケット通信： 受信最大150Mbps※2 送信最大50Mbps※2
	3G	パケット通信： 受信最大14Mbps 送信最大5.7Mbps
対応周波数	WLAN	2400～2483.5MHz（全13ch）
	LTE	2GHz、1.7GHz、1.5GHz、800MHz
	3G	2GHz、850MHz、800MHz、新800MHz
	GSM／GPRS	850MHz、900MHz、1800MHz、1900MHz

VPNプロトコル	ALG（TFTP、FTP、SIP、H.323、L2TP、IPSec、RTSP、PPTP、NATトラバーサル）、VPNパススルー
接続可能台数	10台（single AP）／9台(STA-AP or 2 AP)
デフォルト制限ポート	なし
インターフェイス	USB 2.0 High Speed（microUSB端子）

※1：通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況により異なります。
※2：Xiエリアの一部に限ります。

お知らせ

- Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信時最大14Mbps／送信時最大5.7Mbpsの通信となります。
- Xiエリア内およびFOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、
  受信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：150/112.5/75/37.5Mbps、
  送信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：50/37.5/25/12.5Mbps
  となります。
- Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 電池パック

品名	電池パック HW04
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1780mAh

■ ACアダプタ

品名	ACアダプタ HW03
電源	AC100V～240V　50-60Hz
入力電流	最大0.2A
出力電圧／電流	5.0V／1.0A
使用温度範囲	0℃～35℃
サイズ	約55mm × 約34mm × 約23mm

■ USB接続ケーブル

品名	USB接続ケーブル HW02
ケーブルの長さ（コネクタ部分含む）	約1000mm

Operating Environment

The device complies with the RF specifications when the device is used at your body. For body worn operation, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 1.5 cm from the body.

Certification Information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.
Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves.
The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.

This device is designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).
The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit. This device type when properly worn on body is 1.050 W/kg, and when using Wi-Fi hotspotfunction is 1.132 W/Kg.

The SAR limit adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue, and the highest SAR value for this device complies with this limit.
This device type when properly worn on body is 1.320 W/kg, and when using Wi-Fi hotspotfunction is 1.320 W/Kg.

FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications to this device not expressly approved by HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Disposal and Recycling Information

This symbol (with or without a solid bar) on the device, batteries (if included), and/or the packaging, indicates that the device and its electrical accessories (for example, a headset, adapter, or cable) and batteries should not be disposed of as household garbage. These items should not be disposed of as unsorted municipal waste and should be taken to a certified collection point for recycling or proper disposal.

For more detailed information about device or battery recycling, contact your local city office, household waste disposal service, or retail store.

Disposal of the device and batteries (if included) is subject to WEEE Directive Recast (Directive 2012/19/EU) and Battery Directive (Directive 2006/66/EC). The purpose of separating WEEE and batteries from other waste is to minimize the potential environmental impacts and human health risk of any hazardous substances that may be present.

Reduction of Hazardous Substances

This device is compliant with the REACH Regulation [Regulation (EC) No 1907/2006] and RoHS Directive Recast (Directive 2011/65/EU). Batteries (if included) are compliant with the Battery Directive (Directive 2006/66/EC). For up-to-date information about REACH and RoHS compliance, please visit the web site http://consumer.huawei.com/certification.

EU Regulatory Conformance

Hereby, HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
For the declaration of conformity, visit the web site http://consumer.huawei.com/certification.
This device may be operated in all member states of the EU.
Notice:
Observe national and local regulations where the device is used.
This device may be restricted for use, depending on the local network.

CE0682

- Observe the national local regulations in the location where the device is to be used. This device may be restricted for use in some or all member states of the European Union (EU).
- This device may be operated in all member states of the EU.

Norway: This subsection does not apply for the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund.

輸出管理規制

本端末および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本端末および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本端末を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。また、お客様が本端末を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「WORLD WING」「mopera U」「Xi」「Xi／クロッシィ」および「Xi」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのAdobe® Reader® テクノロジーを搭載しています。
  Copyright © 1984-2014 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、およびReaderは、Adobe Systems Incorporatedの米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Certified®、WPA™、WPA2™とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- "PlayStation"および"PSP"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ニンテンドーDS、ニンテンドーDSi、ニンテンドー3DSおよびニンテンドーWi-Fiコネクションは、任天堂の登録商標または商標です。
- iPhone、iPod touch、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Chrome」、「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- HUAWEIは、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 Operating System（Pro、Enterprise）の略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 Operating System（ Pro、Enterprise）の略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

GPL書面によるオファーについて

本端末はGNU General Public License（Version2）が適用されたフリーソフトウェアを使用しています。詳細は、下記のホームページをご参照ください。

http://consumer.huawei.com/minisite/copyright_notice/
（英語のみ）

または、mobile@huawei.com までお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。
SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア

アフターサービス……146
暗証番号……21
PIN1コード……21
PIN1コード管理……86
PINロック解除コード（PUK）……21
オプション・関連機器のご紹介……138
主な仕様……151

カ

海外利用
海外で利用する前の確認……127
海外で利用できるサービス……126
国際ローミング（WORLD WING）……126
各部の名称と機能……18
公衆無線LAN……83、115
故障かな？と思ったら……139
エラーメッセージ……145

サ

再起動……108
材質一覧……11
充電……24
ACアダプタで充電する……25
充電時間／使用時間……24
パソコンに接続して充電する……26
商標……157
セキュリティ……95
セットアップ……34
セットアップの流れ……34
対応機器……35
ソフトウェア更新……122、148

タ

対応OS……35
タッチパネル……18、28、30
タッチパネルの表示……28
知的財産権……157
通信利用状況……109、122
電源を入れる／切る……27
電池パック……22
充電……24
取り付けかた／取り外しかた……22
ドコモminiUIMカード……19
PIN1コード変更……86
暗証番号……21
取り付けかた／取り外しかた……19
ドライバのアンインストール
Macの場合……68
Windowsの場合……63
ドライバのインストール
Macの場合……65
Windowsの場合……56

ハ

プロバイダ設定
APN名……82
本体付属品……1
本体メニュー
APN設定……116
QRコード表示……122
詳細設定……117
接続中のユーザーを確認する……116
本端末の状態の確認……123
本端末の主な機能……5

ヤ

輸出管理規制……156

ラ

リアカバー
取り付けかた／取り外しかた……22
リセット……107
ルータ設定……95
DMZ設定……103
NAT設定……104
SIP ALG設定……103
UPnP設定……104
ファイアウォール……96

アルファベット

D

DFS機能……6

H

HW-01F設定ツール……70
画面の見かた……74
起動……72
クイック設定……79
システム……105
詳細設定……78
対応ブラウザ……71
バックアップとリストア……106

本端末の状態の確認 77
モバイルネットワーク................................ 85
ログインパスワード変更........................ 106

S

SSID ....79、90、121

U

USB接続ケーブルで接続／通信する 55
Macを接続する 65
USBテザリング............................107、116
Windowsパソコンを接続する.................. 56

W

Wi-Fi設定 .... 89、113
DHCP... 94
MACアドレスフィルタ 93
WPS機能を利用して接続する 114
WPS設定.. 92
Wi-Fiで接続／通信する
Android搭載機器を接続する 46
iPhone／iPod Touch／iPadを接続する48
Macを接続する 53
PlayStation®Vitaを接続する.................. 44
PSP®「プレイステーション・ポータブル」を接続する.. 41
Windowsパソコンを接続する.................. 49
一般的なWi-Fi対応機器を接続する 37
ニンテンドー3DSを接続する................... 38

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから：My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き

※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先
（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

■一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号　**-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

Li-ion 00

’14.2（1版）